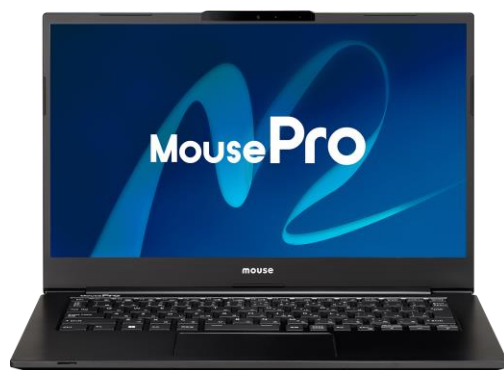


大学生協オリジナルセットアップテキスト



マウスコンピューター MousePro G4

箱を開ける前に必ずお読みください

- ・セットアップにはインターネット接続環境が必要です。
- ・Microsoft Officeについては購入された大学生協店舗からの案内をご確認ください。



目次

1. 無料パソコン電話サポート	4ページ
2. セットアップの準備	5ページ
3. Windowsの設定	9ページ
4. デバイスの暗号化について	 必読 19ページ
5. Windows Updateについて	 必読 31ページ
6. Windows11の主な操作方法について	35ページ
7. ネットワーク接続について	40ページ
8. 活用編	47ページ

このパソコンは大学生協オリジナルモデルです。
一般に販売されているパソコンとは異なる点がありますので
このセットアップテキストを使用して設定して下さい。
本セットアップテキストは大学生協が発行しております。

パソコンをご使用になるまでの流れ

1. 無料パソコン電話サポート

4ページ

△重要 今回ご購入いただいたパソコンには、無料で問い合わせ可能な電話サポートがついています、困った事がありましたらお気軽にご相談下さい。

2. セットアップの準備

5ページ

パソコンはほかの電化製品と違い、電源を入れてすぐに使用することができません、初めて電源を入れるときには、セットアップという作業が必要となります、このセットアップテキストでは、初めての方にもわかりやすく解説してまいります。

3. Windowsの設定

9ページ

🌐インターネット [ここからインターネットへの接続が必要です](#)

初めて電源を入れたときにWindowsのセットアップが開始されます。使用者ご本人の登録など、基本的な設定を行います。

4. デバイスの暗号化(BitLockerの機能)について

19ページ

🔒必読 本章はWindowsのセットアップに関するページではありませんが、暗号化機能がオンになることで発生する、パソコン修理時のトラブルを回避するために必読していただきたいページです。

5. Windows Updateについて

31ページ

セキュリティを向上させたり、不具合を解消する機能がWindows Updateです、Windows Updateを行わないとトラブルの原因になることやコンピュータウイルスに感染する危険性が高まることとなります。

6. Windows11の主な操作方法について

📖参考

35ページ

Windows11の基本的な操作の説明です、パソコンやWindowsの操作に慣れていない方はご参照ください。

以降は活用編です、参考にお読みください。

ページ

2

パソコンを正しく快適に使うために

気をつけよう！

※破損、水濡れはメーカー保証期間中でも有料の修理となります

振動、衝撃に注意！

パソコンは衝撃や振動に弱いものです。
持ち運び時にはケースに入れるようにしましょう。
それでも自転車のカゴに入れるのは禁物です、
振動で内部部品やボディが壊れる恐れがあります。
また、満員電車の圧力で破損した例もあります。
机からの落下も破損の原因になりますので注意しましょう。



液晶画面の取り扱いに注意！

液晶画面は薄いガラスが使用されています、衝撃や強い圧力で割れてしまいます。

例えば・・・

- ・パソコン本体をぶつける
- ・画面に物がぶつかる
- ・画面を指で強く押す
- ・キーボードの上にUSBメモリーやペンなどを置いた状態でフタを閉じる
- ・閉じたパソコンの上に物を落としてしまう
- ・パソコンの液晶ディスプレイ側を持って本体を持ち上げる

などの取り扱いを行うと液晶画面パネルが破損します。

掃除の際にも柔らかい布やクリーナーでやさしく拭き取るようにしましょう。



飲み物に注意！

パソコンは電子機器であるために水にはとても弱いものです。
内部で電気がショートしてしまったり、金属部品の腐食が発生します。
使用中にうっかり飲み物をこぼしてしまったり、テーブルにこぼただけでも
パソコンの側面から内部に入ってしまう事もあります。
使用中はできるだけ近くに飲み物を置かないようにしましょう。
キーボードカバーを使用して飲み物や食べ物から守る方法もあります。



置忘れ、盗難に注意！

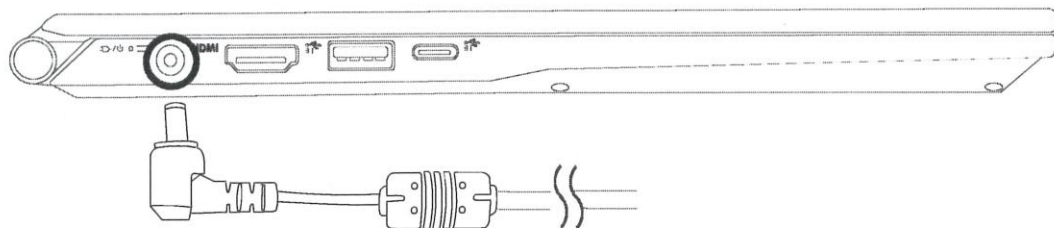
学内や電車の網棚、飲食店などへのパソコンの置き忘れが毎年発生しています。
ちょっとトイレに行った隙に・・・というケースもあります。
パソコンは高価な商品ですが、それ以上に個人情報などの
大切なデータがたっぷり詰まっています。
コンパクトで持ち去られやすいので、盗難などにも注意しましょう。



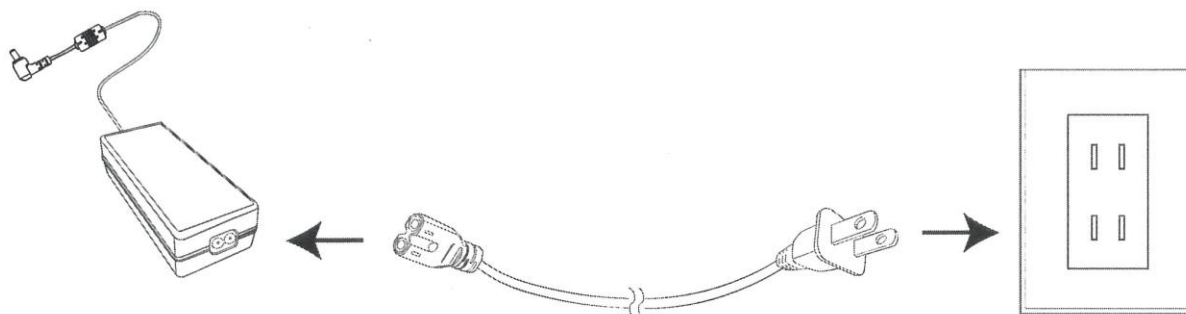
2-3. 本体にバッテリーとACアダプターを接続します

2.本体の設置

1. コンピューター本体にACアダプターを接続します。



2. ACアダプターに電源コードを接続し、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



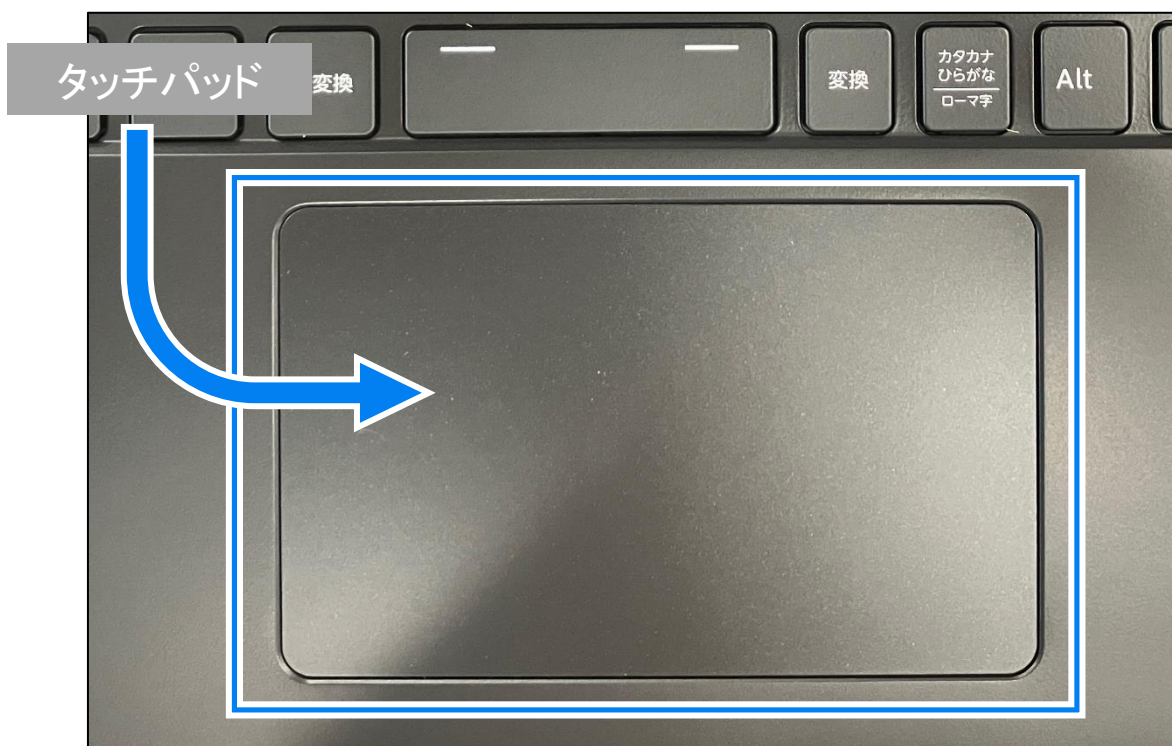
セットアップ中はACアダプターをコンセントに差し込み、電源に接続したままの状態にしてください。

2-4. セットアップの注意点

パソコンを起動し、一定時間操作を行っていないと「省エネルギー」機能により、液晶画面を自動的にオフにするように設定されています。

もし、セットアップを行っている最中に画面が表示されなくなった場合は、**タッチパッド**に触れると画面が表示されます。

クリックやキーボード操作を行ってしまいますと、セットアップ作業に影響を及ぼす可能性があります。



タッチパッドに触れても復帰しない場合には…

本体右側の電源ランプが点滅している場合はスリープモードという状態になっています。



その場合は、電源ボタンを操作するとスリープモードが解除されます。

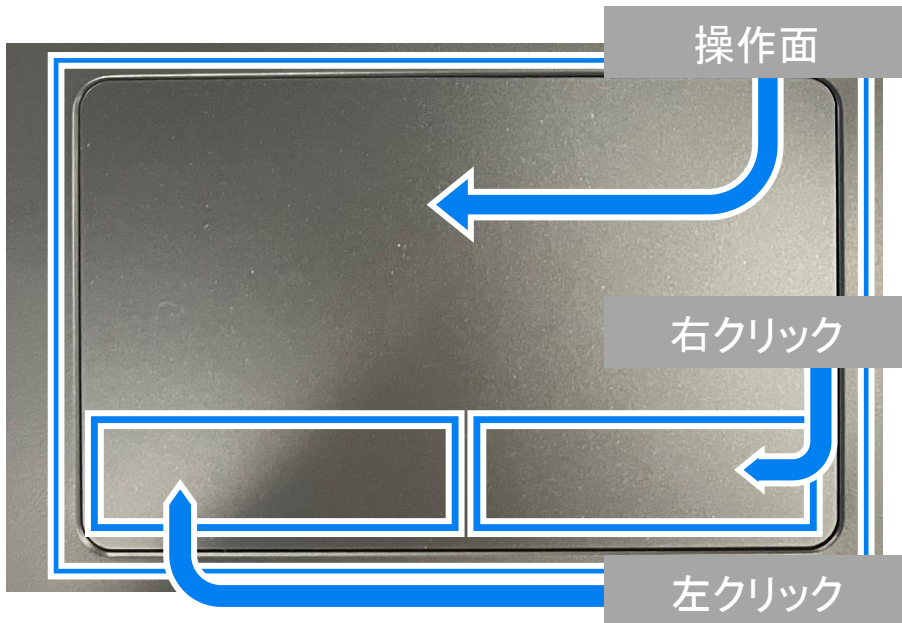
画面が表示されない状態が解除できず、10分以上続く場合は電話サポートにお問い合わせください。

タッチパッド操作を覚えましょう！

ノートパソコンのタッチパッドを簡単に説明します。
タッチパッドが初めての方は一読しておいてください。



本機のタッチパッド



タッチエリアに指1本を当てて動かすと画面上のマウスカーソルを動かすことができます。



基本操作としてはマウスカーソルを動かして画面上のアイコンや文字、リンクに合わせ、**左クリックボタン**でクリックやダブルクリックの操作を行います。

対象をマウスカーソルで選択した後に…

・クリック

⇒**左クリックボタン**を1回押すこと

・右クリック

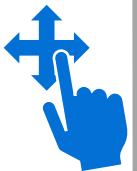
⇒**右クリックボタン**を1回押すこと

・ダブルクリック

⇒**左クリックボタン**を2回続けて押すこと

・ドラッグ

⇒**左クリックボタン**を押しながらマウスカーソルを動かすこと



・**タッチエリアのタップ**(指先で叩く)はクリックと同じ動作です。

タッチエリアを2回タップすることでダブルクリックと同じ動作をさせることが可能です。



タッチパッドでのスクロール



・指二本を添えて上下に動かすことで、画面を上下にスクロールさせることができます。

・スマートフォンの操作のようにピンチアウトやピンチインによる拡大縮小も可能です。いろいろなシーンで試してみてください。



3. Windowsの設定

初めて電源を入れたときにWindowsのセットアップが開始されます。
使用者ご本人の登録など、基本的な設定を行いましょう。

電源を入れたらセットアップ終了までACアダプターを必ず接続して、電源が切れないようにしてください。

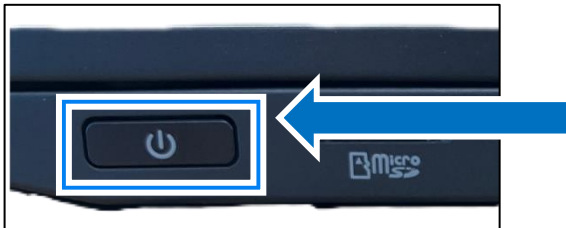
Windowsセットアップの開始

①



キーボード側に手を添えて、
ディスプレイをゆっくりと開きます。

②



キーボード左側側面の電源ボタンを押して、電源を投入します。
電源ボタンを押すと、電源LEDが点灯します

③



画面にメーカーロゴが表示されます。
そのまましばらくお待ちください。

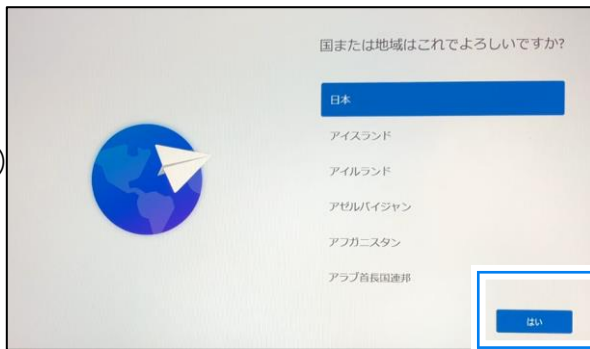
④



「お待ちください…」の表示がされます。

Windowsセットアップ続き

⑤



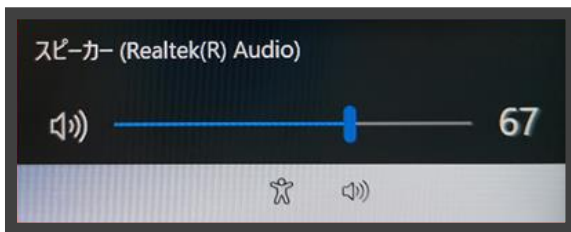
次に

「国または地域はこちらでよろしいですか？」と表示されます。

「日本」が選択されていることを確認し（「日本」が選択されていない場合は「日本」を選択してください。）

“はい”をクリックします。

参考



※スクリーンリーダーを使用してWindowsを設定するにはと音声ガイダンスが流れる場合は、右下のスピーカーアイコンをクリックし、バーをスライドすることで音量を変更することができます。

⑥



「これは正しいキーボードレイアウトまたは入力方式ですか？」と表示されます。

「Microsoft IME」が選択されていれば、“はい”をクリックします。

⑦



「2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？」と表示されます。

今は、追加しませんので“スキップ”をクリックします。

文字入力を覚えましょう！

セットアップの手順で文字入力が必要です。
文字入力が不安な方はご覧ください。



全角／半角の切り替え方法



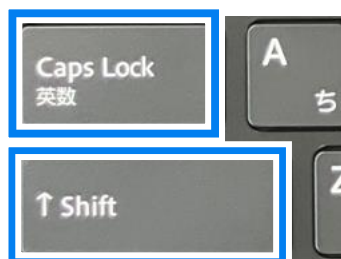
キーボード左上の“半角/全角”キーを押して切り替えることができます。

画面右下に表示されている言語バーを見ると、現在の入力の状態を確認できます。

「A」の場合は半角、
「あ」の場合は全角になります。



大文字と小文字の入力方法



キーボードの“Shift”キーを押したまま、文字のキーを押すと大文字で入力できます。

また“Shift”キーを押したまま“CapsLock”を押すと常に大文字で入力ができる設定に切り替えることができます。

小文字入力に戻す場合はもう一度、“Shift”キーを押したまま“CapsLock”を押すと常に小文字が入力される設定に戻ります。

CapsLock機能が有効か無効については、“Shift”キーを押したまま“CapsLock”を押すごとに、左図のような「ON」と「OFF」が画面上に交互で表示されます。

* “Caps Lock”=Capital Letters Lock=一般的にはキャップスロックキーと呼ばれています。



“Num Lock”キーについて

* 一般的にはナムロックキーと呼ばれています。



文字入力の際に“K”、“U”、“M”キーなどを押した際に数字が入力されてしまう場合は、NumLock(ニューメリックロック)が有効の状態です。

その場合はキーボード下方の“Fn”キーと上方にある“Num Lk”キーを押すと英語入力にもどります。



キーに表記されている数字が入力される状態となります。



“Fn”キーと“NumLk”キーを押すごとに左図の画面表示で、確認できます。

この機能は数字入力を多く使用する場面で便利です。

Windowsセットアップ続き

ここではWi-Fiで接続することを前提に説明しております、ネットワーク接続、接続方法についてお知りになりたい場合は、後のページの『ネットワーク接続について』を参照してください。

⑧

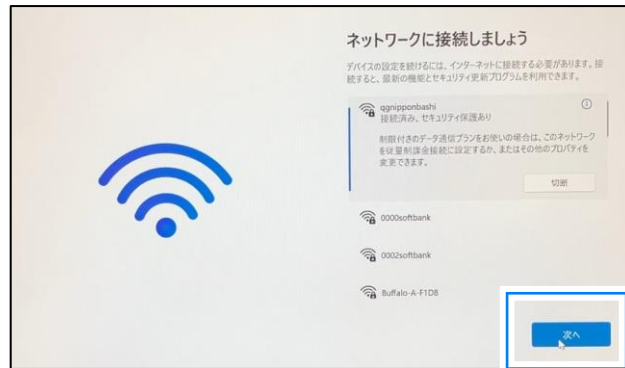


「ネットワークに接続しましょう」

接続先を選択し、“自動的に接続”をクリックしチェックを入れます、続いて、“接続”をクリック、「ネットワークセキュリティキーの入力」欄にパスワードを入力後、“次へ”をクリックします。

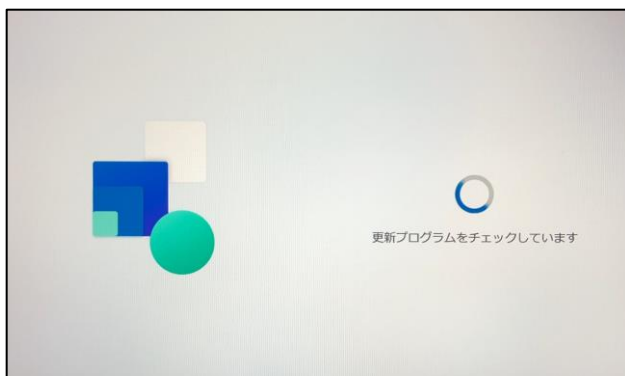
初期セットアップ中は“自動的に接続”にチェックを入れ、ネットワーク接続が切断されないようにしてください。

⑨



Wi-Fiに接続ができたことを確認後、“次へ”をクリックします。

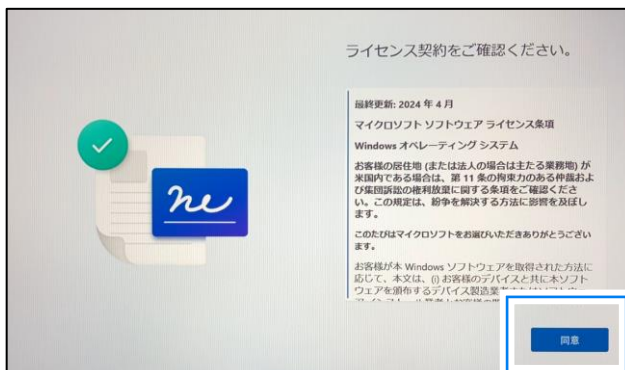
⑩



「更新プログラムをチェックしています。」と表示されましたらそのまましばらくお待ちください。

自動で再起動が行われる場合があります。

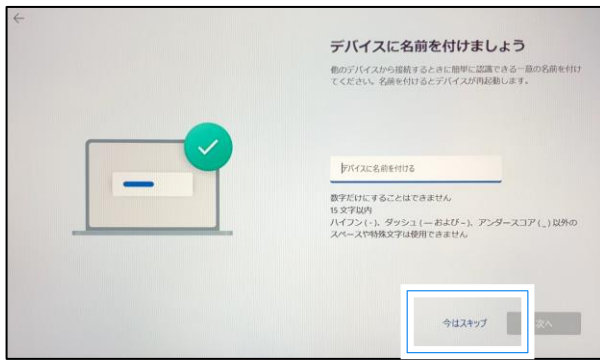
⑪



「ライセンス契約をご確認ください。」と表示されたら内容を確認し、“同意”をクリックします。

Windowsセットアップ続き

12



「デバイスに名前を付けましょう」と表示されます。

今回は“今はスキップ”をクリックします。

13

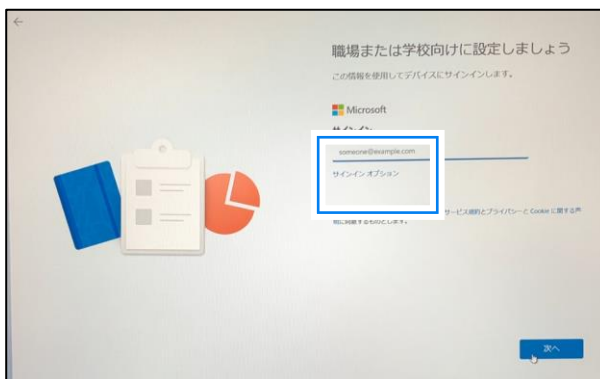


「このデバイスをどのように設定しますか?」と表示されたら、

“職場または学校用に設定”をクリックし選択、

“次へ”をクリックします。

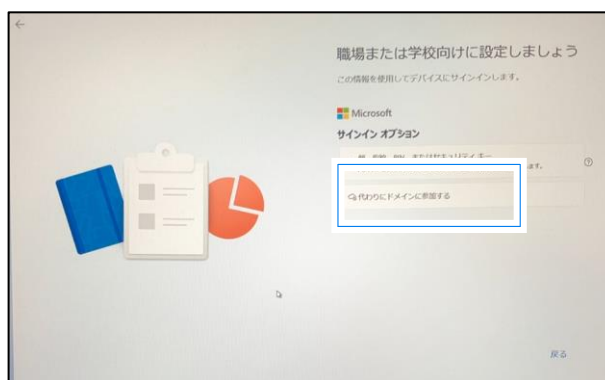
14



「職場または学校向けに設定しましょう」と表示されたら、

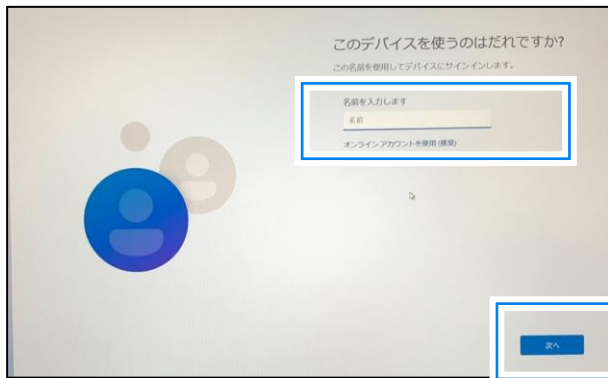
“サインインオプション”をクリックします。

15



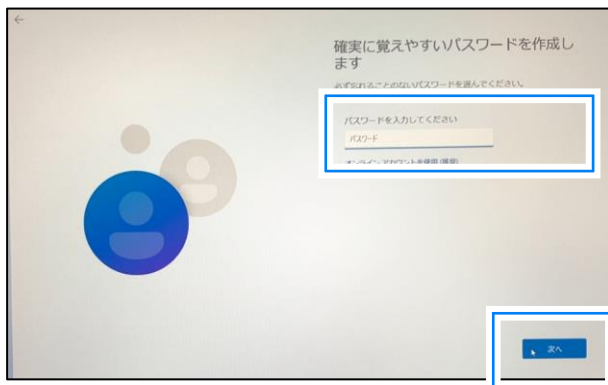
「サインインオプション」の選択では、
“代わりにドメインに参加する”をクリックします。

16



「このデバイスを使うのはだれですか？」と表示されましたら、パソコン利用時の名前(アカウント名)を入力します。日本語では文字化けする可能性があるため、半角英数、アルファベットでの入力を推奨いたします。入力後に“次へ”をクリックします。

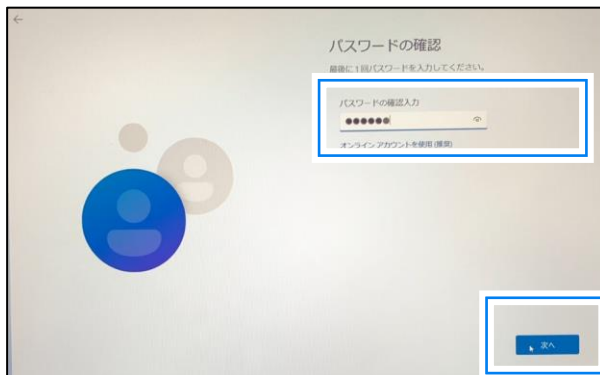
17



「確実に覚えやすいパスワードを作成します」と表示されましたら、パスワードを入力します、忘れることのないよう、必ずどこかに控えておいてください。入力後に“次へ”をクリックします

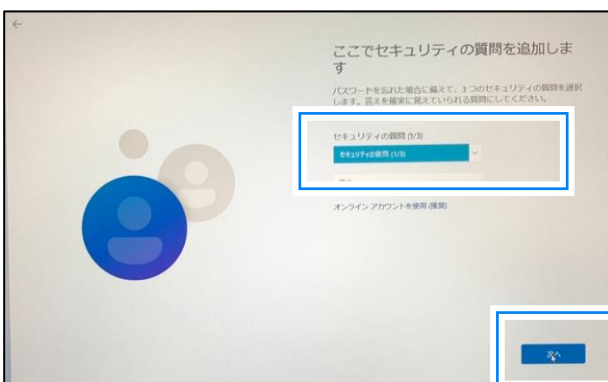
パスワードの入力をせずに【次へ】をクリックすることで、スキップする事ができます。その場合は「16ページ」の【デバイスのプライバシー設定の選択】へ進んでください。

18



「パスワードの確認」と表示されましたら、設定したパスワードをもう一度入力します。入力後に“次へ”をクリックします。

19

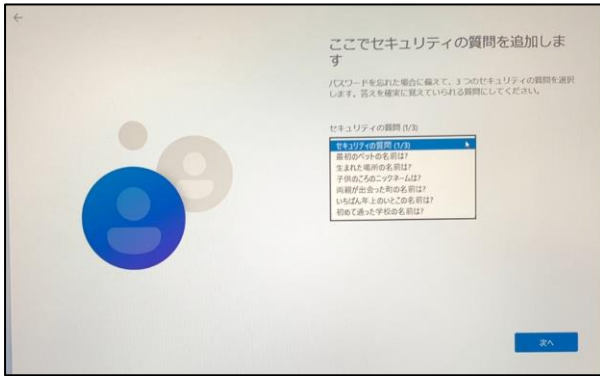


「ここでセキュリティの質問を追加します」と表示されましたら、パスワードを忘れた際の質問と答えを設定します。入力後、“次へ”をクリックします

忘れることのないよう、必ずどこかに控えておいてください。また、パスワードを設定しなかった場合は表示されません。

Windowsセットアップ続き

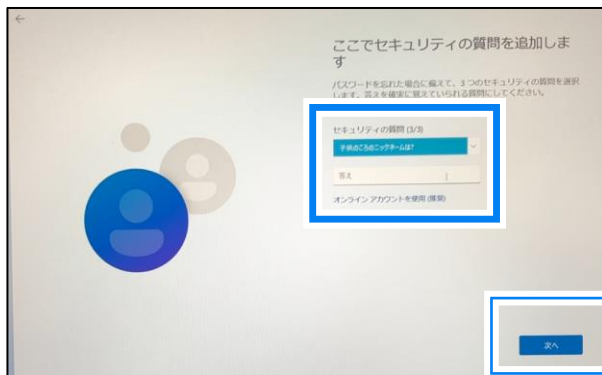
20



質問の選択肢は全部で6つあります
以下の中から3つの質問を選択し、答
えを設定してください

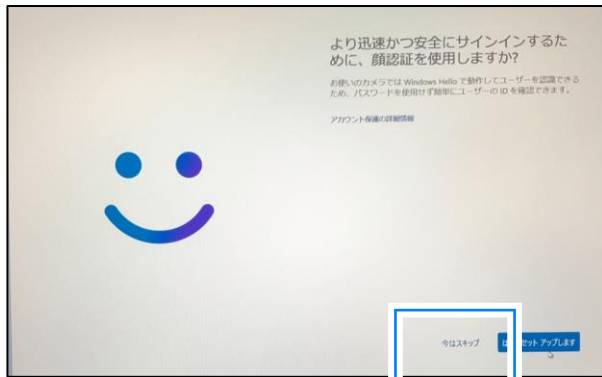
最初のペットの名前は？
生まれた場所の名前は？
子供のころのニックネームは？
両親が出会った町の名前は？
いちばん年上のいとこの名前は？
初めて通った学校の名前は？

21



「セキュリティの質問(3/3)」まで
設定を行い、「次へ」をクリックします。

22



「より迅速かつ安全にサインインするた
めに、顔認証を使用しますか？」と表示
されたら、「今はスキップ」をクリックしま
す。

23



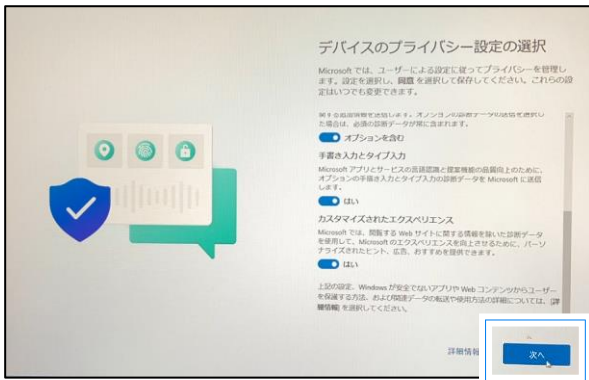
「デバイスのプライバシー設定の選択」
と表示されます。

- ・位置情報
- ・デバイスの検索
- ・診断データ

“次へ”をクリックします。

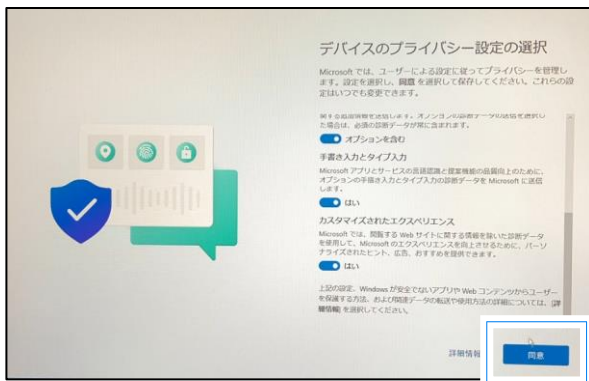
Windowsセットアップ続き

24



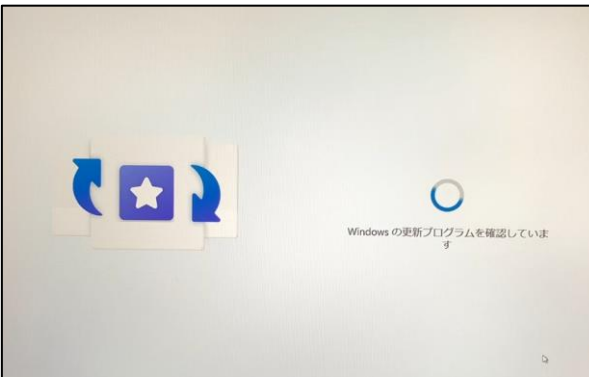
自動でページがスクロールされ次に
・手書き入力とタイプ入力
・カスタマイズされたエクスペリエンス
・広告識別子
などと表示されます。
“次へ”をクリックします。

25



自動でページがスクロールします。
一番下までスクロールが完了したら、
“同意”をクリックします。

26



「Windowsの更新プログラムを確認して
ています」と表示されましたら、そのま
までしばらくお待ちください。

27



更新が必要な場合、案内表示が切り替
わりながら、自動で進んでいきます、更
新内容によっては30分ほど時間が掛か
ります。



Windowsセットアップ続き

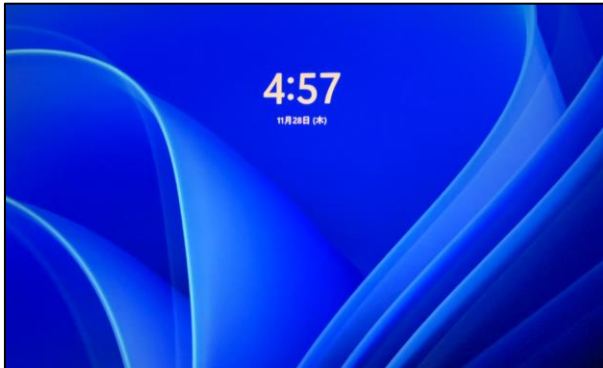
②8



更新の完了後、パソコンが再起動をする場合があります。

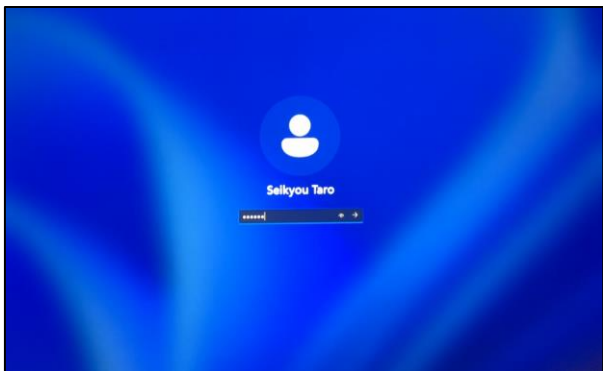
※再起動をしなかった場合は次のページに記載のデスクトップ画面が表示されます。

②9



再起動後に[日時]の画面が表示されたら、キーボードの「Enter」キー、もしくはクリックをしてください。

③0



Windowsの「ログイン画面」が表示されますので、初期設定の際に”ログインパスワード”を設定されている場合は設定した[パスワード]を入力してください。

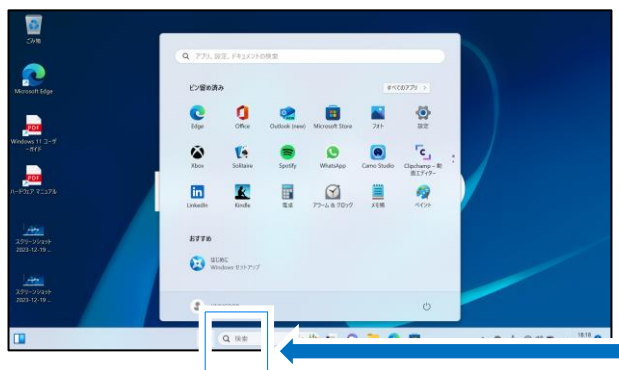
③1



「こんにちは。」
「準備をしています。」
「これには数分かかる場合があります。」などが表示されます、そのまましばらくお待ちください。

Windowsセットアップ続き

35



デスクトップ画面(スタートメニュー)が表示されたら、
Windowsのセットアップは終了です。

スタートメニューを消す、再表示させる場合は、
“スタートボタン”をクリックします。

次のページからはWindowsを操作し、セキュリティ機能の設定を行います。

4. デバイスの暗号化 (BitLocker) について

Windowsのセキュリティ機能であるデバイスの暗号化 (BitLocker) については、パソコンに記録された情報を守るための機能ですが、正しく認識をされずに使用された場合にパソコンが起動できなくなるリスクがあります。

デバイスの暗号化 (BitLocker) 機能とは

パソコンの紛失や盗難をされてしまった場合に、パソコン内に記録されている情報を他者から見るできないように暗号化をする機能です。この機能には利点と不利点 (メリット・デメリット) がありますので、理解したうえで利用してください。

利点・メリット

パソコンに個人情報や重要な情報が記録されている場合、パスワードや解除キーがわからなければ不正に情報を見られてしまう事態を防ぐことができます。

不利点・デメリット

- ・使用中に暗号化の動作が行われるため、パソコンに負荷がかかった状態になります、近年のパソコンでは気にするほどではないですが、通常動作に加えて暗号化の動作も行われていることを知っておいてください。
- ・修理による部品交換などで、機器の構成が変わった際にパソコンが起動できなくなる場合があります、パソコンは治ったけれども使用できない状態になってしまいます。
これはWindowsが別のパソコンに記憶装置が接続されたと認識し、保護機能を有効にする事に起因します。

デバイスの暗号化を使用するかどうか迷われたら

大切な情報を守るための機能ですので、万が一のためにご使用することをお勧めしております。

△重要

次のページで暗号化の状態を確認していただきまして、機能を使用する場合とすでにオンになっている場合は暗号化 (BitLocker) 回復キーのバックアップを必ず保管してください。

デバイスの暗号化 (BitLocker) 機能をオンにする

下記の手順で暗号化の状態を確認し、オフの場合は機能を有効にします。
有効化するにはMicrosoftアカウントが必要です。

すでにMicrosoftアカウントをパソコンに登録されていた場合は、暗号化機能が自動的にオンの状態になっている場合があります。

画像は一例です、メーカーや機種により表示が異なる場合があります。

①

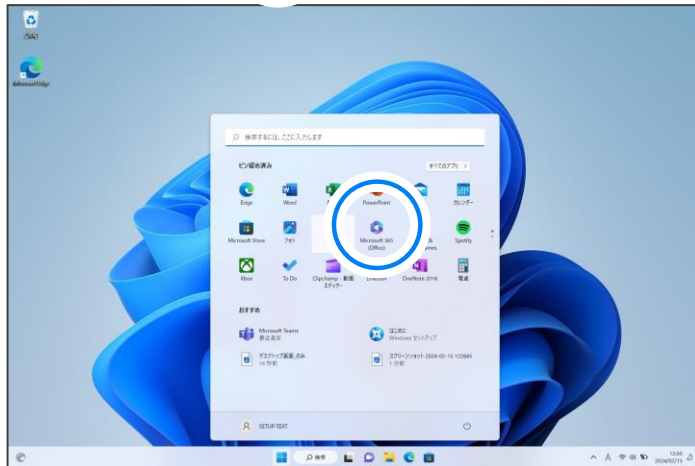


“スタートボタン”をクリックします。



←“スタートボタン”

②



“設定”をクリックします。



←“設定”アイコン

③



“プライバシーとセキュリティ”をクリックします。

“デバイスの暗号化”が表示されますのでクリックします。

デバイスの暗号化 (BitLocker) 機能をオンにする続き

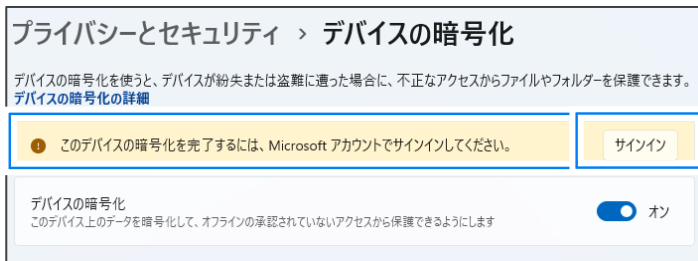


暗号化の状態を確認します。

- ・  オンの状態
- ・  オフの状態

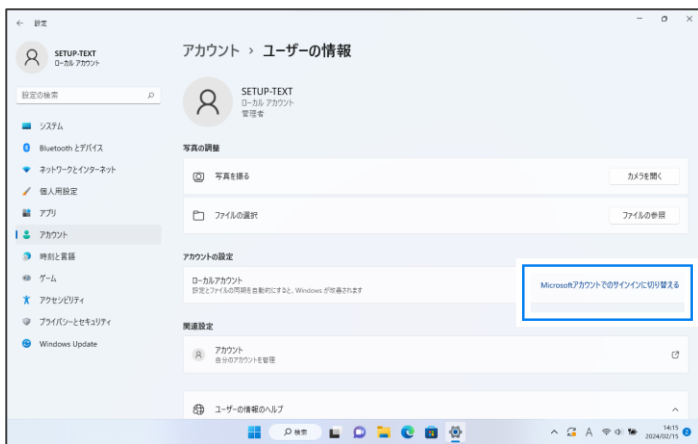


オフになっていた場合は、“オフ”をクリックし、“オン”の状態にします。



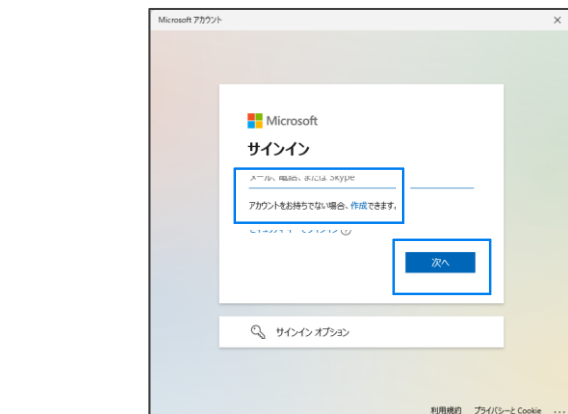
「このデバイスの暗号化を完了するには、Microsoft アカウントでサインインしてください。」と表示された場合は、“サインイン”をクリックします。

表示されない、またはすでにオンの場合は手順⑱まで進みます。



設定のアカウント、ユーザーの情報が自動で表示されます。

「Microsoftアカウントでのサインインに切り替える」をクリックします。



「サインイン」のウィンドウが表示されます。

次のページでMicrosoftアカウントの有無により、手順が別れます。

デバイスの暗号化 (BitLocker) 機能をオンにする続き

- ・Microsoftアカウントをお持ちの方は、手順⑨へ進みます。
- ・Microsoftアカウントをお持ちでない方は新規作成を行ってください、青文字の「作成」をクリックし、画面表示に従ってください。作成後は手順⑫からお進めください。

⑨

Microsoftアカウントを入力し、“次へ”をクリックします。

⑩

Microsoftアカウントのパスワードを入力し、“次へ”をクリックします。

⑪

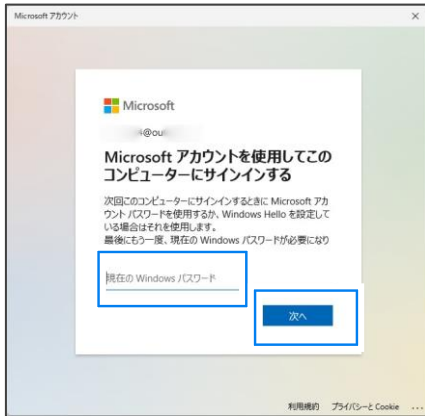
「保護の強化にご協力ください…」が表示された場合は、すぐに確認ができる電話番号を登録し“次へ”をクリックします。スマートフォンであればSMSでの認証確認が可能です。

表示されない場合は⑫へ

この画面はスマートフォンの電話番号を登録し、SMSが送信された画面です。スマートフォンで受信したコードを入力し、“次へ”をクリックします。

デバイスの暗号化 (BitLocker) 機能をオンにする続き

12



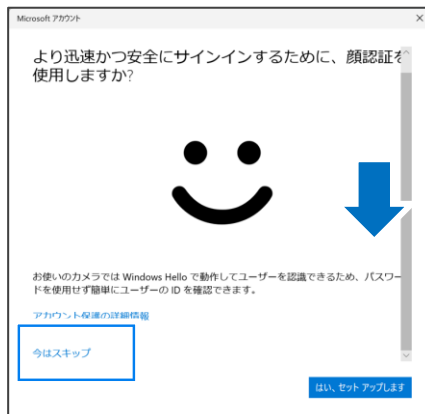
Windowsに設定したパスワードを入力し、“次へ”をクリックします。

13



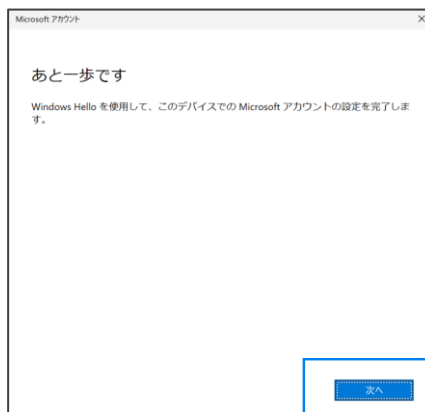
パソコンの機種によっては指紋認証の設定を促す画面が表示されます。

あとで設定する場合は下にスクロールし、“今はスキップ”をクリックします。



顔認証の設定が表示された場合もあとで設定する場合にも下にスクロールし、“今はスキップ”をクリックします。

14

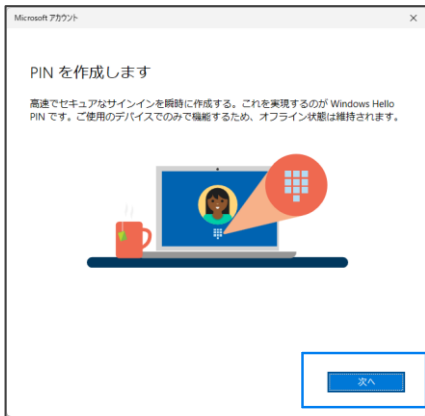


「あと一歩です」が表示されたら“次へ”をクリックします。

表示されない場合は次の手順に進みます。(表示がされない場合も問題はございません)

デバイスの暗号化 (BitLocker) 機能をオンにする続き

15



「PINを作成します」が表示されたら“次へ”をクリックします。

既に設定されていて表示されない場合は、ユーザー確認画面が表示されますので、設定済みのPINを入力し⑱へお進み下さい。

16



PINコードを登録します。Windowsの起動時にパスワードの代わりに入力することでログインが可能です。4文字以上で、数字のみもしくは、英字・記号を含めたコードを設定できます。確認として同じコードを2回入力し、“OK”をクリックします。

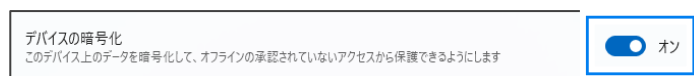
17



設定画面に戻りますので、“プライバシーとセキュリティ”をクリックします。

“デバイスの暗号化”の表示をクリックします。

18

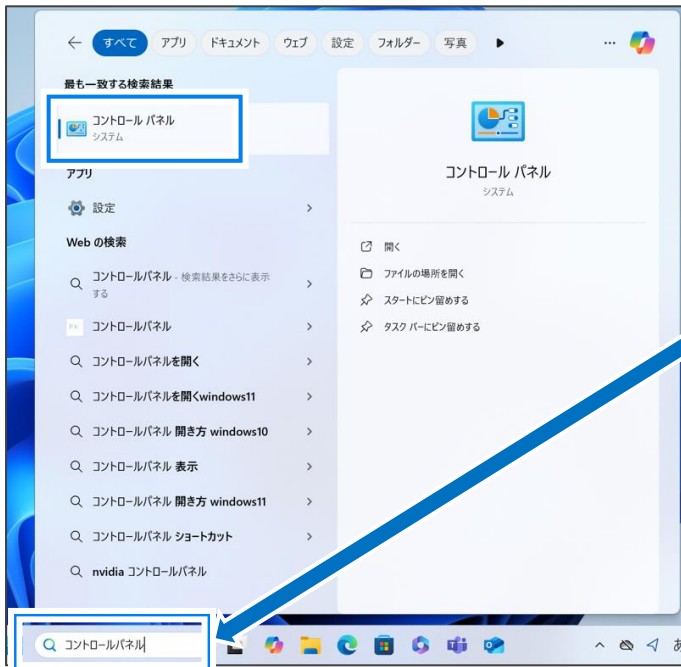


「デバイスの暗号化」がオンになっていることを確認します。次のページから、暗号化状態でロックされてしまった場合の回復キーについて確認を行います。

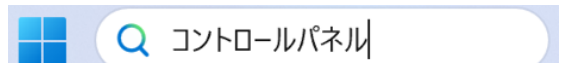
暗号化処理中でもパソコンはそのまま使用できます。

デバイスの暗号化 (BitLocker) 回復キーのバックアップ

19



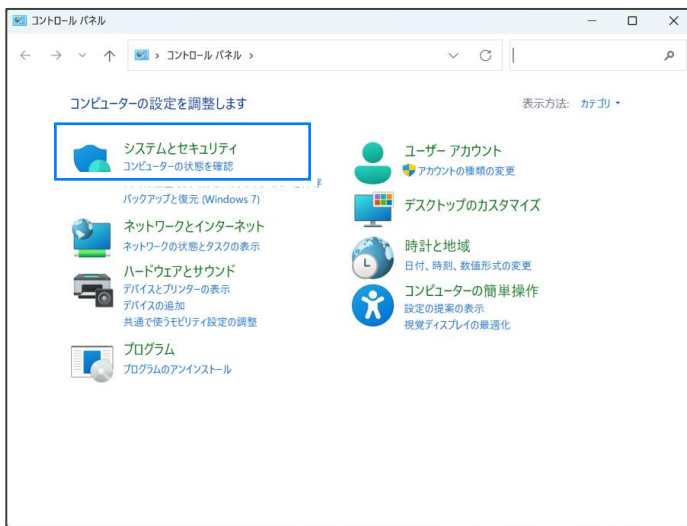
Windowsの検索ボックスに入力を行います、ボックスが開いていない場合は虫眼鏡の検索アイコンをクリックします。



「コントロールパネル」と入力します、画面の上の方に下図の表示がされますので、クリックします。



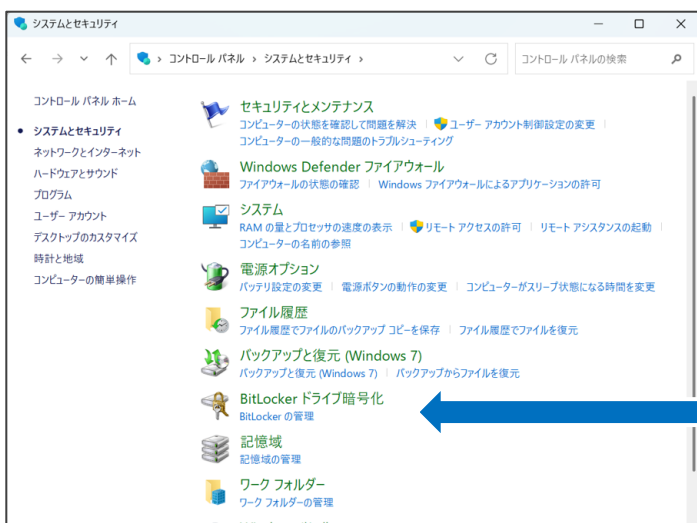
20



コントロールパネルのウィンドウが開きます。

「システムとセキュリティ」をクリックして開きます。

21



下記の表示部分をクリックします。機種により、2種類がありますので、表示されたアイコンをクリックしてください。

1



BitLocker ドライブ暗号化
BitLocker の管理

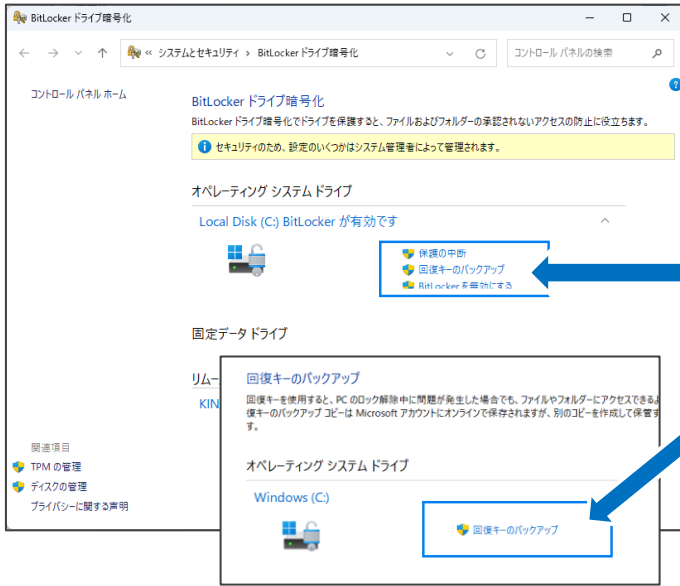
2




デバイスの暗号化
回復キーのバックアップ

デバイスの暗号化 (BitLocker) 回復キーのバックアップ

22



機種の違いにより、左図の表示が異なりますが、どちらの場合も「回復キーのバックアップ」をクリックしてください。

 回復キーのバックアップ

23

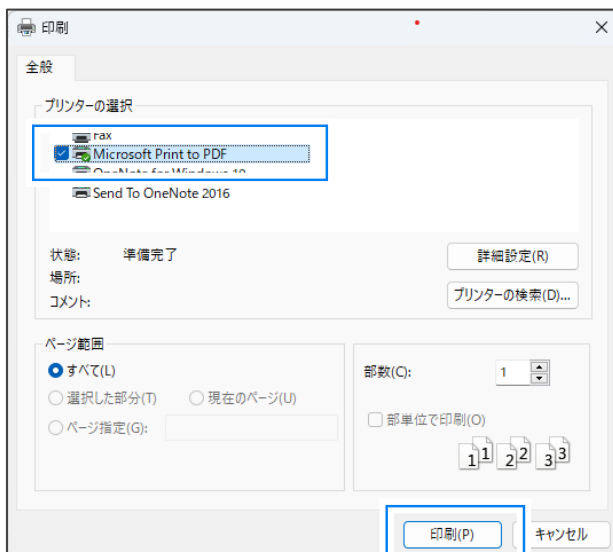


回復キーのバックアップ方法を選択する画面が表示されます。

「→回復キーを印刷する(P)」をクリックします。

プリンターをお持ちでない、また、接続をしていない場合でも問題はございません。

24

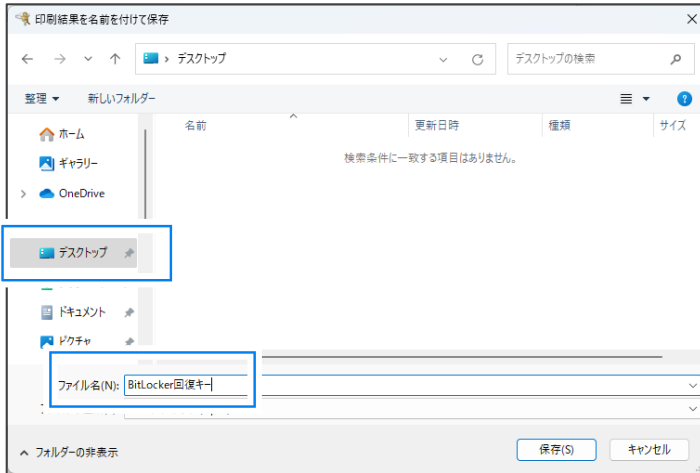


「印刷」画面が表示されますので、「Microsoft Print to PDF」をクリック選択し、「印刷(P)」をクリックします。

“Microsoft Print to PDF”が表示されない場合や、プリンターを既に使用されている場合は、直接紙に印刷していただいて結構です。

デバイスの暗号化 (BitLocker) 回復キーのバックアップ続き

25



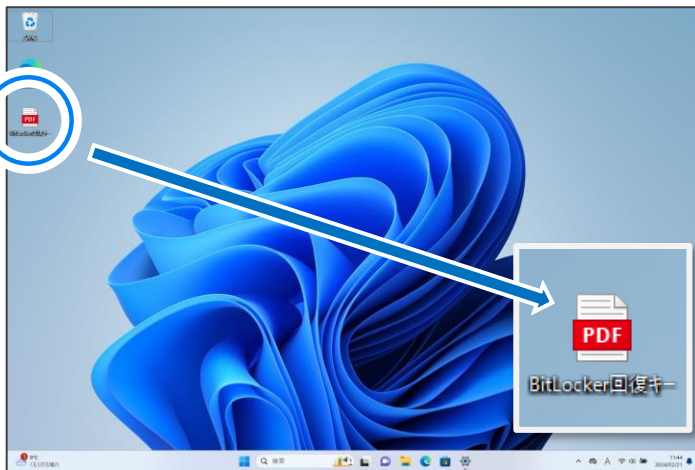
「印刷結果を名前を付けて保存」が表示されますので、ファイル名を入力、保存先を指定して、“保存(S)”をクリックします。

ここでは、保存先を“デスクトップ”、ファイル名を「BitLocker回復キー」としています。

バックアップ方法指定の画面は、“完了”をクリックして閉じてください。



26



保存先である“デスクトップ”にファイルが作成されていることが確認できます。作成されました、「BitLocker回復キー」ファイルをダブルクリックし、ファイルを開きます。

Microsoft Edgeが起動します、初回起動の場合は以下のような5つの確認画面が表示されますので、内容に合わせて以下のように進めます。

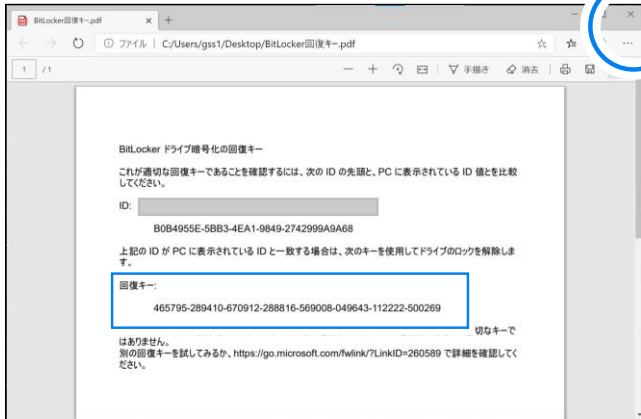
27

- ・「Microsoft Edgeへようこそ。Windowsで最適に動作するブラウザです。」は、
 - ① “ユーザーデータを使用せずに開始”
 - ② “確認して続ける” のいずれかをクリックします。
- ・「閲覧データを最新に保つ」は、
 - ② “確認して続ける” をクリックします。
- ・「GoogleのデータとサービスをEdgeにインポートする」は、
 - ③ “Google データなしで続行する” をクリックします。
- ・「Googleからの閲覧データのインポートをお手伝いします」は、
 - ③ “このデータを使用せずに続行する” をクリックします。
- ・「Microsoft のエクスペリエンスをより便利にするためにご協力ください」は、
 - ④ “確認して閲覧をの開始する” をクリックします。
- ・「テーマを使用してMicrosoft Edgeをカスタマイズして自分を表現する」は、任意で右側にあるテーマを選択 し、⑤ “次へ” をクリックします。



デバイスの暗号化 (BitLocker) 回復キーのバックアップ続き

28



Microsoft Edgeが起動し、回復キーが表示されます、画面を写真撮影、印刷をして記録されることをお勧めいたします。

下記メモ欄もよろしければご使用ください。

ウィンドウは右上の“X”をクリックして画面を閉じます。

6桁ずつ、全48文字で構成されています。

次のページは参考です、暗号化をオフにする方法です。

回復キー手書き記録欄

6桁	6桁	6桁	6桁
6	12	18	24
6桁	6桁	6桁	6桁
30	36	42	48

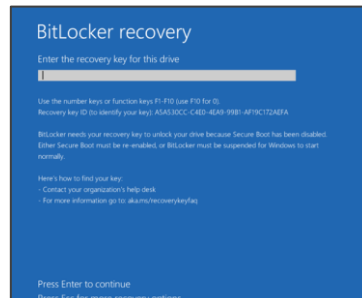
暗号化のオフ、オンを行いますと回復キーが変更されます。
その都度、バックアップを実施してください。

参考

回復キーはMicrosoftアカウント情報に保存されています。
以下のURLよりご確認が可能です。

<https://account.microsoft.com/devices/recoverykey>

下の画面はセキュリティ機能が動作し、パソコンがロックされた状態です。
この場合に回復キーを入力し、ロック状態の解除を行います。



作業は完了です、次の「Windows Updateについて」へお進みください。

ページ

28

デバイスの暗号化 (BitLocker) 機能をオフにする

暗号化機能が不要と判断された場合や、修理が必要な際にあらかじめ暗号化を解除する場合にご参照ください。

オンのまま使用する場合は、次の「Windows Updateについて」へお進みください。

画像は一例です、メーカーや機種により表示が異なる場合があります、

①

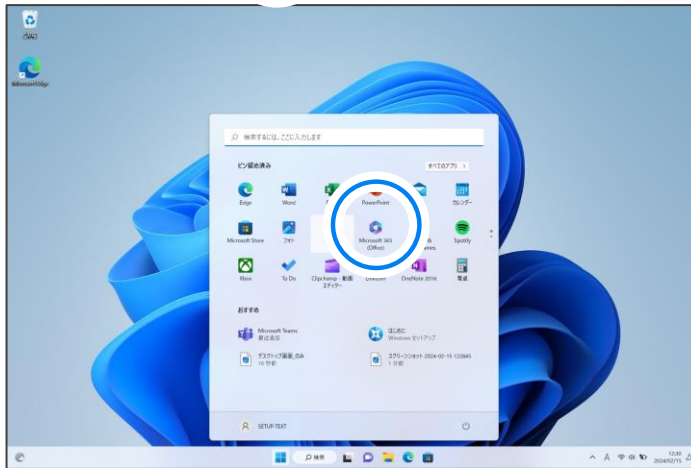


“スタートボタン”をクリックします。



←“スタートボタン”

②



“設定”をクリックします。



←“設定”アイコン

③



“プライバシーとセキュリティ”をクリックします。

“デバイスの暗号化”が表示されますのでクリックします。

デバイスの暗号化 (BitLocker) 機能をオフにする続き

④



暗号化の状態を確認します。

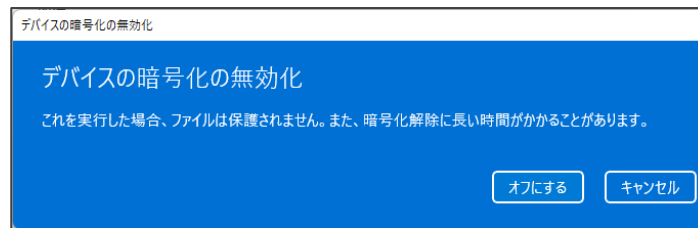
- ・  オンの状態
- ・  オフの状態

⑤



“オン”をクリックし、“オフ”の状態にします。

⑥



「デバイスの暗号化の無効化」のウィンドウが表示されます。

“オフにする”をクリックします。



「暗号化解除が進行中です。デバイスを引き続き使用できます。」と表示されたのちに、オフの状態になります。

⑦



再度、機能をオンにする場合は回復キーのバックアップも忘れずに行ってください。

5. Windows Updateについて

外部からのネットワーク攻撃に対して保護機能を向上させたり、不具合を改善する機能がWindows Updateです。

Windows Updateを行わないとトラブルの原因になったり、コンピュータウイルスに感染してしまう可能性があります。

パソコンを安心して利用するために常に最新状態にアップデートしましょう。

Windows Updateを動作させるには

Windows Updateの機能は標準でオンの状態です。

パソコンをインターネットに接続することで自動的に更新が行われます。

Windows11の不具合やセキュリティ上の問題が発見されたり、追加変更が発生した場合、修正する更新プログラムがインターネット上に公開されます。

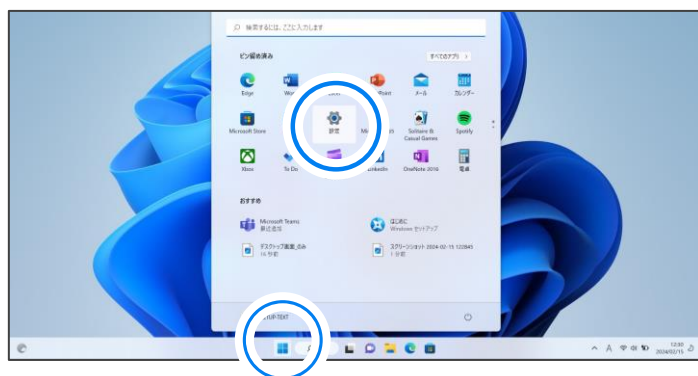
この公開情報を確認し、自動的にダウンロードとインストールを行います。

更新の種類によっては、パソコンの再起動が必要になる場合があります。

最新の状態に更新するには

画面は一例です

①



“スタートボタン”をクリックします。



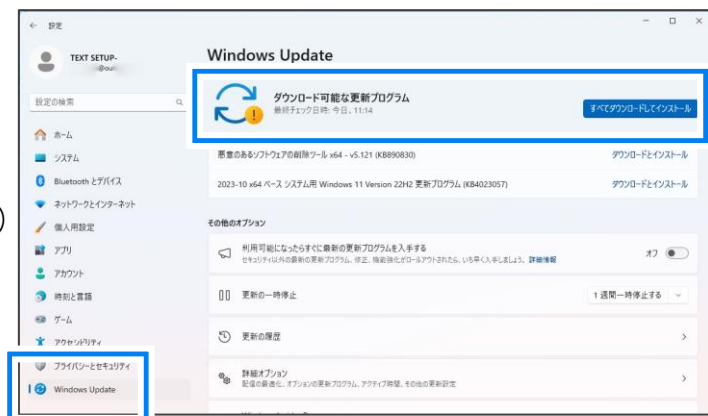
←“スタートボタン”

“設定”をクリックします。



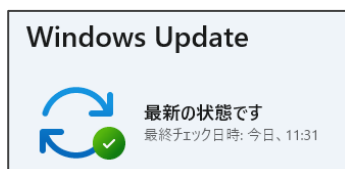
←“設定”アイコン

②



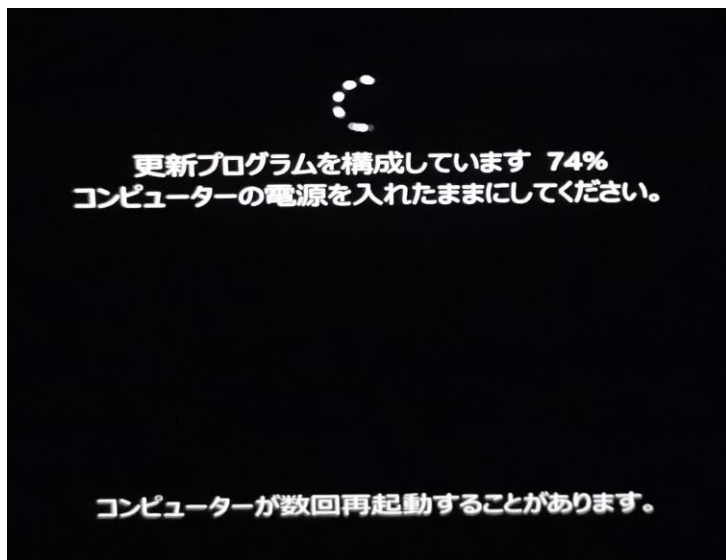
“Windows Update”をクリックします。
「ダウンロード可能な更新プログラム」が表示されている場合は、
“すべてダウンロードしてインストール”をクリックします。

③



「最新の状態で」と表示されていれば完了です。

Windows Update更新中の注意



・Windows Updateのダウンロード中やインストール中、パソコンの使用は可能ですが、動作(反応)が遅くなる場合があります。異常ではございませんので、様子を見てそのままご使用ください。

・Windows Updateを行った後、Windowsのシャットダウンが左のような画面になり、通常以上の時間(10分~20分以上)かかる場合があります。これはパソコンがUpdate後の再設定をおこなっていますのでその際は電源を無理やり切らずに自然にシャットダウンされるのを待ってください。

異常状態が長く続くとき(30分以上画面が変わらない等)、最新状態に更新をして
も動作が遅い場合は、電話サポートにお問い合わせください。

参考

Windows Updateとはインターネットを通じてWindowsやOffice製品(WordやExcelなど)の発売後に見つかった問題を修正したり、新しい機能を追加する作業のことです。

他にもウイルスが忍び込むセキュリティホール(セキュリティの欠陥)をなくし、悪質な攻撃に負けないように、強化することもWindows Updateでは行われます。

通常はWindows Updateの自動更新が有効になっているので、定期的に更新されるようになっています。とても便利な機能ですが、更新中はパソコンが少々遅くなったり、パソコンの再起動が必要な場合もあり、面倒に感じることもあります。

しかし、Updateをせずに使い続けると、不具合が修正されなかったり、セキュリティの欠陥が残ってしまうなど、とても危険です。

セットアップの完了

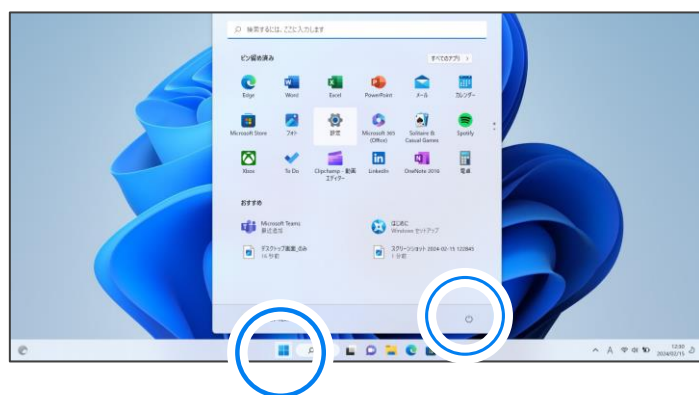
以上でセットアップは完了です、お疲れさまでした。
パソコンの電源を切る方法について説明します。

シャットダウン(電源を切る)方法について

画面は一例です

パソコンは現在のメモリー上の作業内容を保存してから電源を切る必要があります。

正しく電源が切られなかった場合、次回の立ち上げ時などに問題が発生したり、その他の不具合に発展する可能性があります。



①

“スタートボタン”をクリックします。



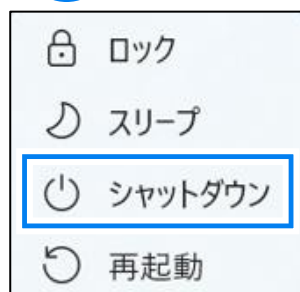
←“スタートボタン”

“電源”をクリックします。

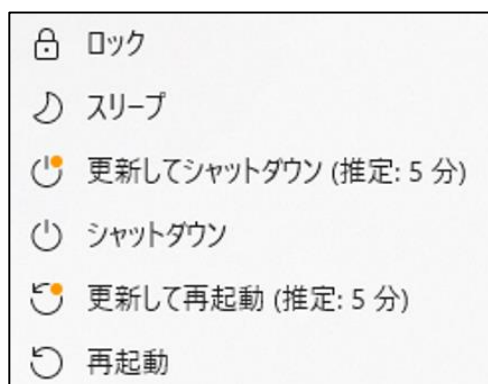


←“電源”アイコン

②



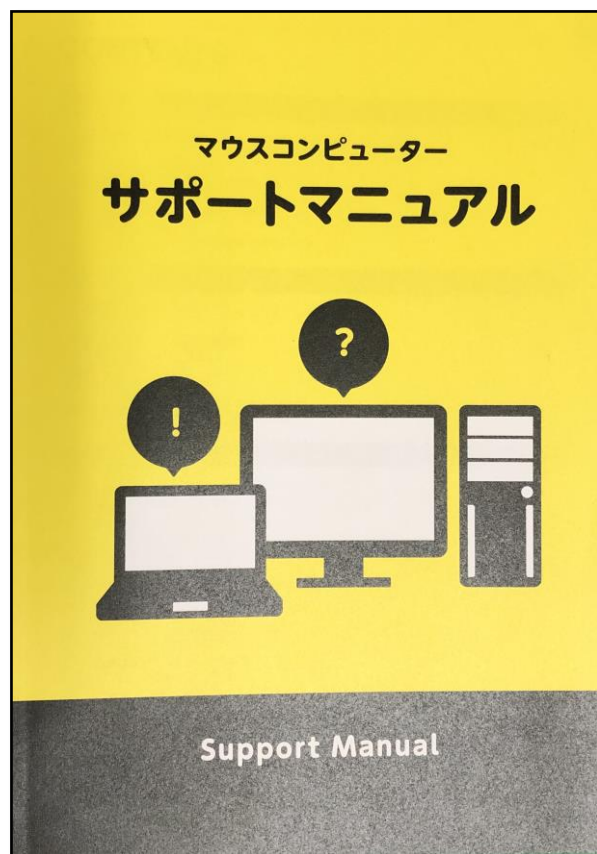
オプションが表示されますので、“シャットダウンを”クリックします。
数秒後に電源が切れます。



Windows Updateの更新で、再起動が必要になる場合はアイコンにオレンジのマークが表示されます。
更新を選択すると電源が切れるまでに時間がかかる場合があります。急いで電源を切りたい場合はオレンジマークの無い方をクリックしてください。

セットアップが終わったら…

セットアップが終わったら、付属されている「マウスコンピューター サポートマニュアル(取扱説明書)」の確認をしましょう。



次のページからはWindowsの操作、インターネットと接続方法と活用編です。お時間があるときにご確認をお願いいたします。

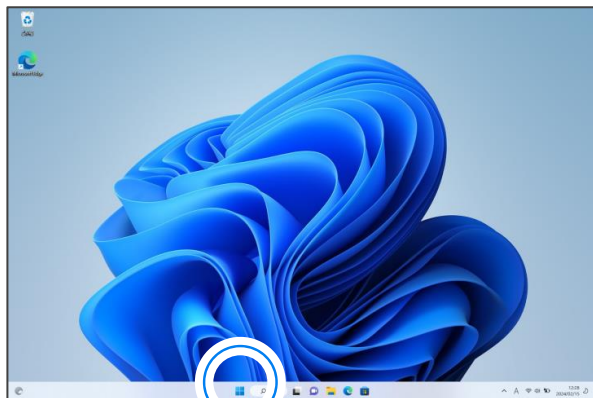
6. Windows11の主な操作方法について

説明中の画像は一例です、メーカーや機種により表示が異なる場合があります。

デスクトップ画面とスタートメニュー

デスクトップ画面

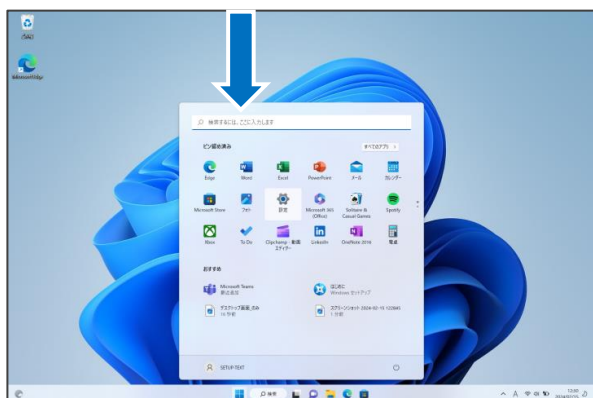
①



起動後、ログイン画面でパスワードを入力しサインインすると、デスクトップ画面が表示されます。
(起動時にロック画面が表示されログイン画面にならないときは画面を一度クリックしてください。)


デスクトップ画面の下部中央にある“スタートボタン”をクリックするとスタートメニューを表示します。

②



このスタートメニューから起動したいアプリケーションを選びクリックして実行します。

参考

キーボードのウィンドウズキー“”を押すことで、スタートメニューの表示／非表示をさせることができます。

③



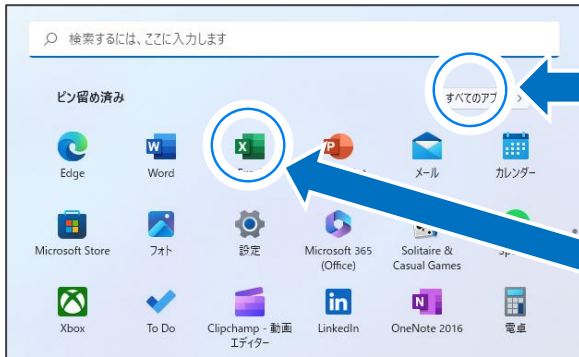
スタートメニュー上部には「ピン留め済み」のアプリのアイコンが表示されます。右側にある丸をクリックする事で表示ページを切り替えることができます。

← ページの切り替え

「おすすめ」は直近でよく使用されているアプリが表示されます。

スタートメニューの操作方法

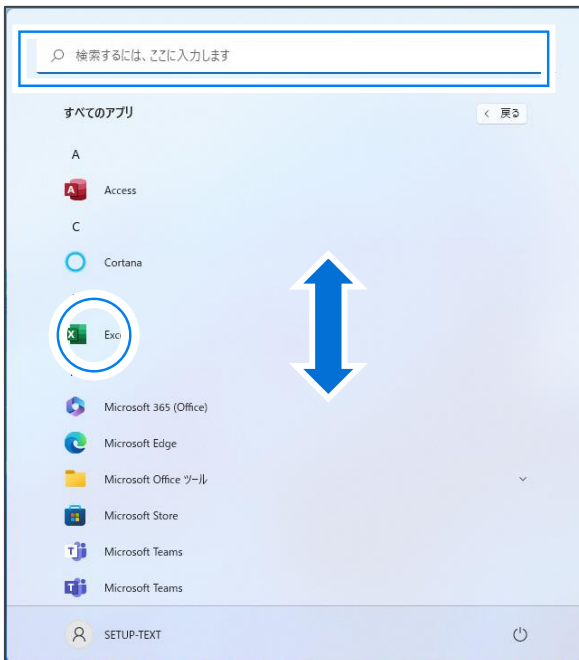
④



「すべてのアプリ」をクリックするとパソコンにインストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

スタートメニューに表示されているアイコンをクリックするとアプリケーションが起動します。

⑤



「すべてのアプリ」からアプリケーションを探す場合は、画面をスクロールさせるか上の検索枠にアプリの名前を入力し、目的のアプリケーションを表示させてからクリックします。

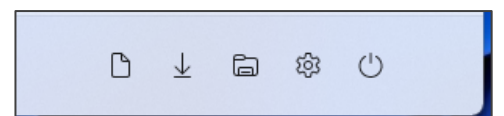
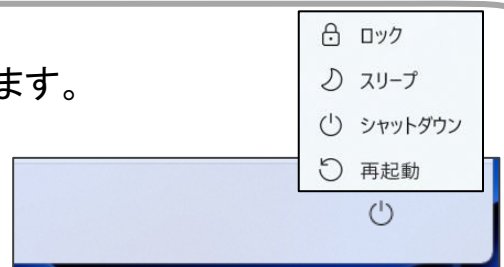
名前は入力している途中でも候補が表示されますので、頭の数字を入力すれば目的のアプリケーションが表示されます。

参考

スタートメニューの下部分に電源アイコンがあります。再起動や電源を切る操作がができますが、設定でアイコン(アクセス先)を追加することができます。

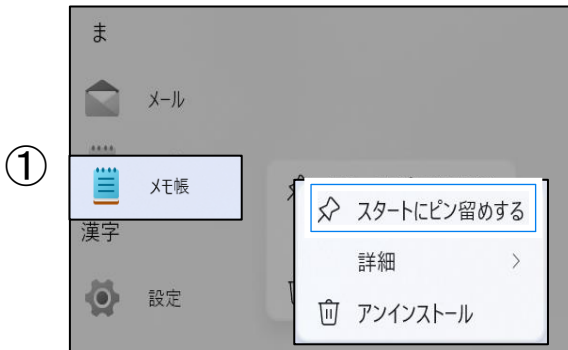
「設定」⇒「個人用設定」⇒「スタート」⇒「フォルダー」でよく使う、アクセス先をを“オン”にすることでカスタマイズが可能です。

ドキュメント、ダウンロード、エクスプローラー、設定を追加した例です、よく使う項目を簡単に開けるようになります。



スタートメニューのカスタマイズ

スタートメニューによく使用するアプリケーションを登録することができます。



スタートメニューで目的のアプリケーションを表示させます、ここでは「メモ帳」を登録してみます。

メモ帳を見つけたら、アイコンを右クリックし、“スタートにピン留めする”をクリックします。



メモ帳が「ピン留め済み」に登録されました。

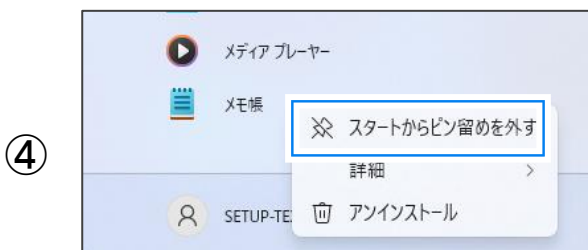
ピン留めの位置はアイコンをクリックしたままタッチパッドを操作(ドラッグ)することで、位置の変更が可能です。



よく使うアプリケーションをお好みの位置に登録することが可能です。



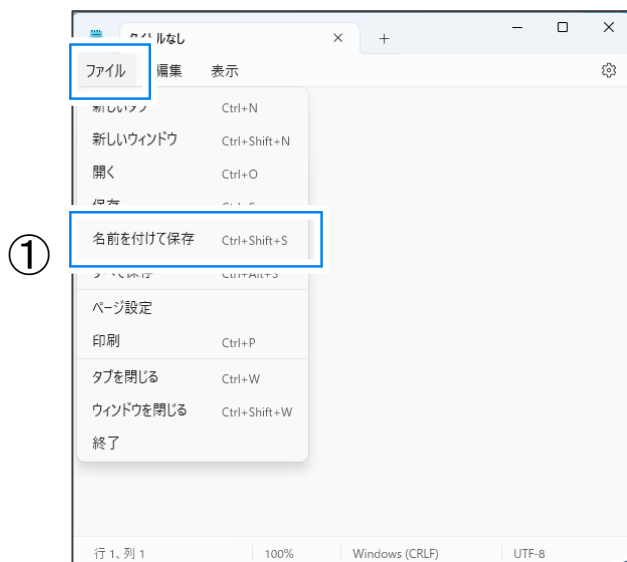
ピン留めしたアプリケーションは、クリックすることで立ち上げることが可能です。



ピン留めしたアプリケーションを削除したい場合は、アイコンを右クリックして、“スタートからピン留めを外す”をクリックします。アプリケーションそのものが消えてしまうわけではなく、ピン留めから消えるだけです。

アプリケーションで作成したファイルの保存と終了

メモ帳アプリケーションでのファイル保存と終了の例です。



新しく作った書類を保存する場合は、“ファイル”をクリックするとメニューが表示されますので、“名前を付けて保存”をクリックします。

ここに保存先名が表示されています。



保存先を指定するウィンドウが表示されますので、保存用の名前を入力し“保存”をクリックします。

標準では「ドキュメント」フォルダが選択されます。



メモ帳(アプリケーション)を終了させる方法の一つは、“ファイル”をクリックしメニューを表示させて、“終了”をクリックします。

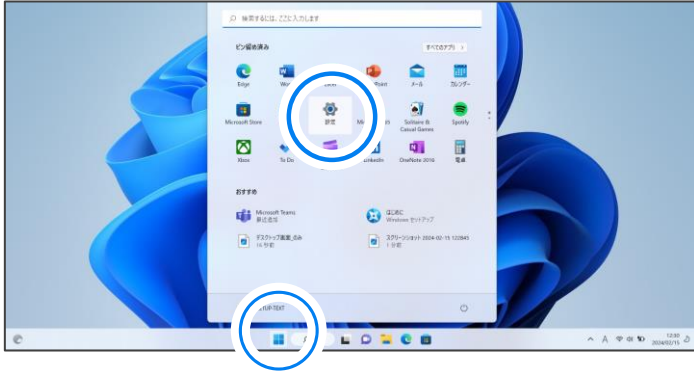
別の方法は右上の“×”をクリックします。

終了時に作成、編集した内容の保存がされていない場合は保存を促すメッセージが表示されます。

PIN(Windows Hello)の変更(設定)方法

WindowsへログインするためのPINコードを変更することができます。
説明中の画像は一例です、メーカーや機種により表示が異なる場合があります。

①



“スタートボタン”をクリックします。



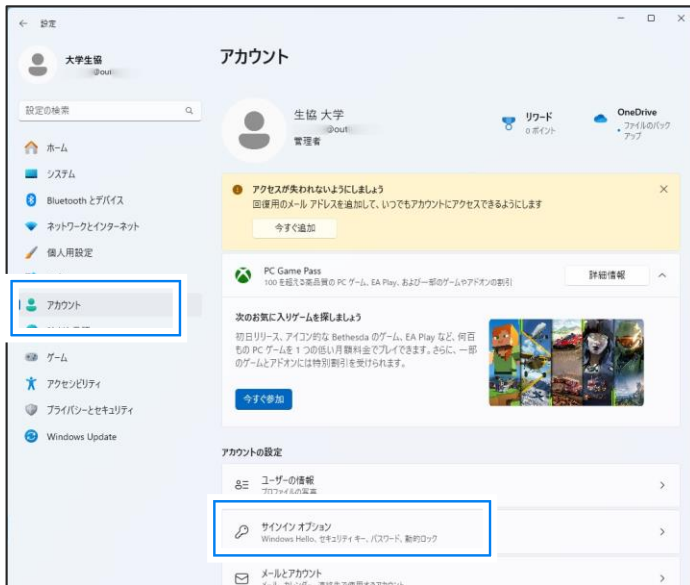
←“スタートボタン”

“設定”をクリックします。



←“設定”アイコン

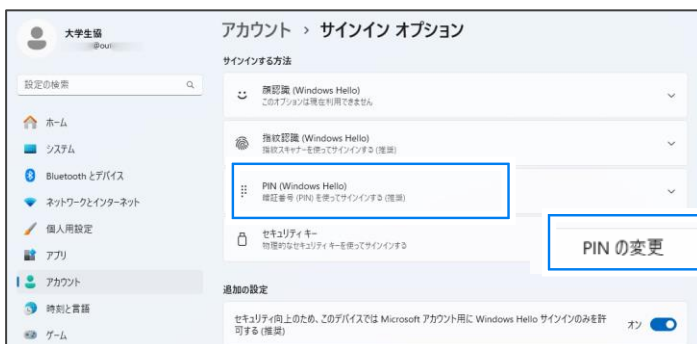
②



“アカウント”をクリックします。

“サインインオプション”が表示されますのでクリックします。

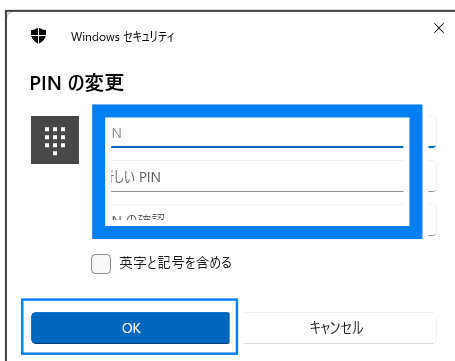
③



“PIN (Windows Hello)”が表示されますので、クリックします。

続けて“PINの変更”をクリックします。

④



「PIN」に現在使用中のPINを入力します。

「新しいPIN」と「PINの確認」に新しく設定するPINを入力し“OK”をクリックします。

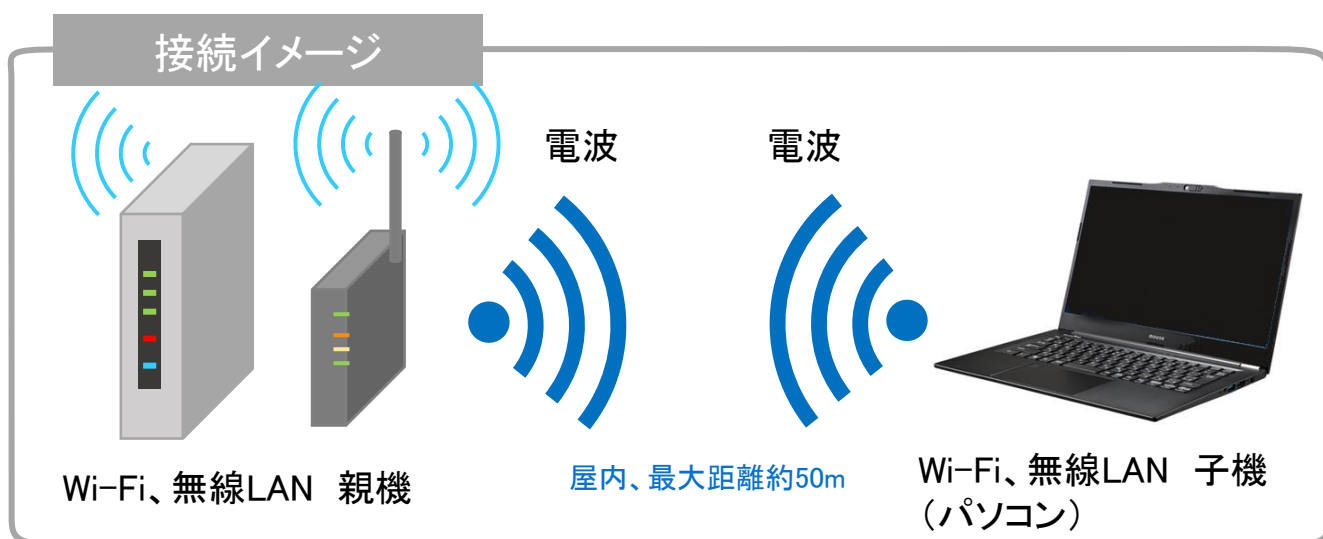
7. ネットワーク接続について

インターネットに接続する方法につきまして、どこに相談したらよいかわからない場合は、『無料パソコン電話サポート』をご利用ください。

Wi-Fi(無線LAN)での接続

一般的な接続方式としてWi-Fi(無線LAN)での方法を説明いたします。前提として、お住まいにインターネット回線とWi-Fi環境がある、学校などのWi-Fi設備が利用できる必要があります。

パソコン(子機)と無線親機との間を電波を通じて、通信を行います。電波が届く範囲ならばどこでもパソコンが使用可能です。



【Wi-Fi接続の利点】メリット

- ・配線が不要で、追加工事などの手間もかかりません。
- ・Wi-Fiの環境とID(SSID)とパスワードが判れば、どこでもインターネットが利用できます。
- ・ある程度の障害物が間にあっても接続が可能です、部屋を隔てても使用できます。

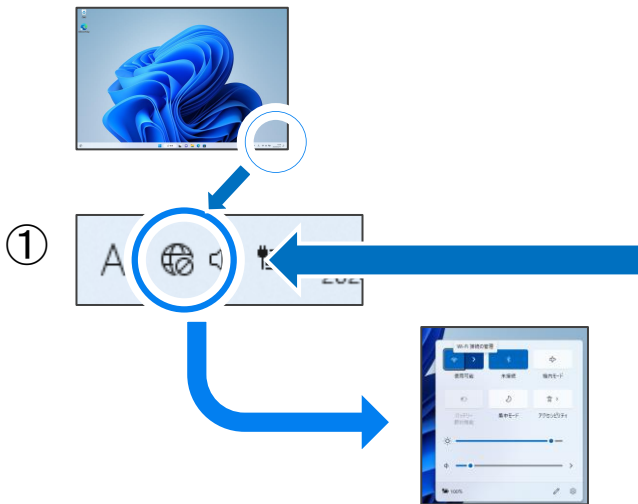
【Wi-Fi接続の不利点】デメリット

- ・有線接続と比べると安定性と通信速度が劣ります。
- ・電子レンジなど電化製品の影響を受け、接続に問題が発生する可能性があります。
- ・お住いの親機設置場所から電波の届く範囲であれば、他人から使用される、情報をのぞかれてしまう可能性があります、セキュリティ対策が必須となります。
- ・公衆Wi-Fi(フリーWi-Fi)は盗聴やのぞき見される可能性があります。
フリーWi-Fiを利用中は機密性の高い情報のやりとりは避けるようにしましょう。

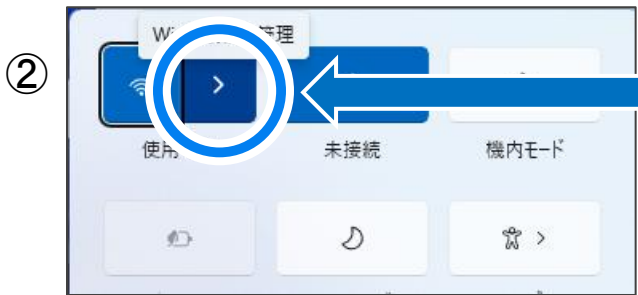
次のページは具体的な接続方法の説明です。

Wi-Fi(無線LAN)でのインターネット接続方法

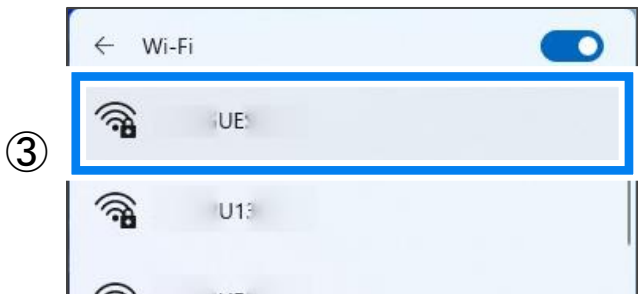
パソコンを操作して、Wi-Fi(無線LAN)の親機に接続します。



画面右下に表示されている、ネットワークのアイコンをクリックし、クイック設定を開きます。

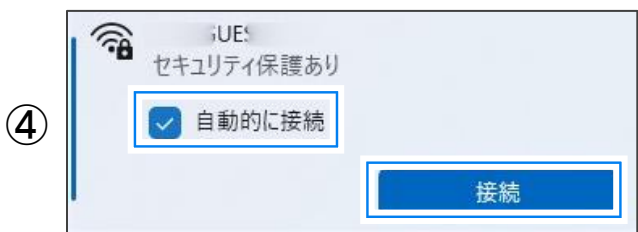


クイック設定から“Wi-Fi接続の管理”アイコンをクリックします。



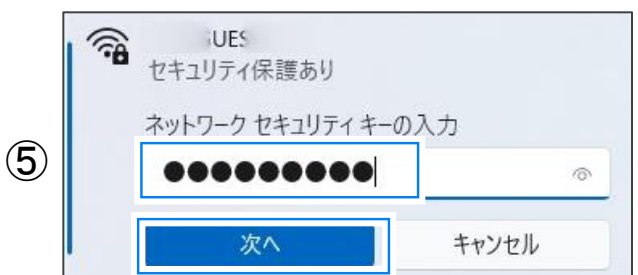
パソコン(Wi-Fi子機)から認識可能なWi-Fiの接続先リストが表示されます。使用するWi-Fiネットワークをクリックします。

接続先が多く表示されている場合は、スクロールをして対象を探します。



“自動的に接続”をクリックし、チェックマークが入った状態にします。

“接続”をクリックします。

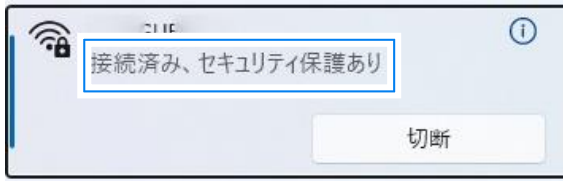


ネットワークセキュリティキーを入力します。(Wi-Fi接続用のパスワードです) 入力が終わりましたら“次へ”をクリックします。

Wi-Fi(無線LAN)でのインターネット接続方法続き

「このネットワーク上の他のPCやデバイスが、このPCを検出できるようにしますか?」と表示された場合は「いいえ」をクリックしてください。

⑥



正しく接続がされると、「接続済み」の表示がされます。



クイック設定に接続先の名称が表示されます。

ネットワークアイコンがWi-Fi接続の表示になります。

この状態でWi-Fi接続は完了です。

参考

Wi-Fi接続先(親機)により接続先の選択に「2.4GHz」、「5GHz」の2つの周波数が表示される場合があります。

Wi-Fiには2.4GHzと5GHzの2つの電波があり、それぞれの特性を考慮すると、以下のようなポイントがあります。

- ・2.4GHzは遠くまで電波が届き、障害物があっても接続しやすい特性があります。
- ・5GHzの電波は新しい規格で通信速度が速く、干渉する機器も少ないため安定した通信が可能です。

選択可能ならば、まずは5GHzを使用し、Wi-Fi接続が安定しないと感じたときは、接続先を2.4GHzへ切り替えてみてください。

有線LANでのインターネット接続方法

LANケーブルでのネットワーク接続を説明いたします。

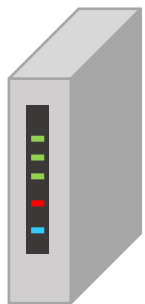
より安全で安定した接続を求める場合や、Wi-Fiが接続できなかつたり、OSインストール、アップデートなど大量のデータをダウンロードする際に使用をお勧めいたします。

接続先により、ケーブルを接続しただけで使用できたり、パソコン側で設定が必要になる場合があります。

ご自宅(個人)のネットワークでは、ほとんどの場合ケーブルを接続するだけで使用が可能です。

学校や施設で試使用する場合は管理者の方に確認をしてください。

接続イメージ



LANケーブルで接続



ルーター、無線LAN 親機

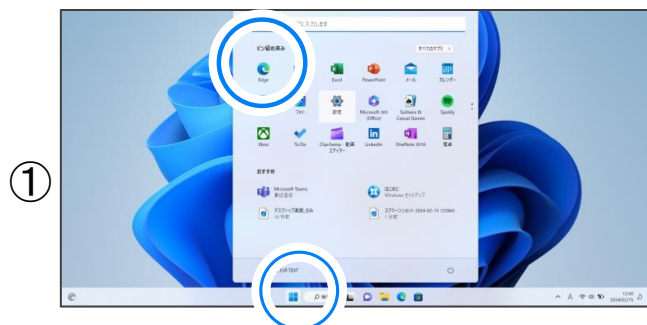
LANポートに接続

実際に正常にインターネット接続できるか、次のページからブラウザを使用して確認を行います。

Microsoft Edge(インターネットブラウザ)について

Windows11でインターネットWebページを閲覧する際はEdge(エッジ)を使用します、ここではインターネットへの接続ができていることの確認のため、Edgeを起動します。

画像は一例です、メーカーや機種により表示が異なる場合があります。



“スタートボタン”をクリックし、スタートメニューを表示させます。

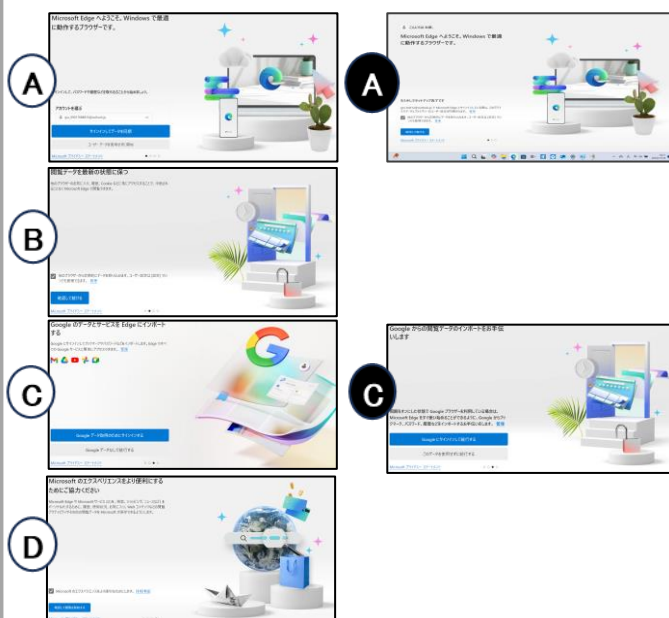


“Edge”をクリックします。

Edgeアイコン

Edgeを初めて起動すると、初回設定のメッセージが表示されます、既に設定をされた方は「⑤」へお進みください。

② ※Windowsのバージョンや設定により表示が変わる場合があります。



・「Microsoft Edgeへようこそ。Windowsで最適に動作するブラウザです。」は、
① “ユーザーデータを使用せずに開始”
② “確認して続ける”
のどちらかをクリックします。

・「閲覧データを最新に保つ」は、
③ “確認して続ける”をクリックします。

・「GoogleのデータとサービスをEdgeにインポートする」は、
④ “Google データなしで続行する”
をクリックします。

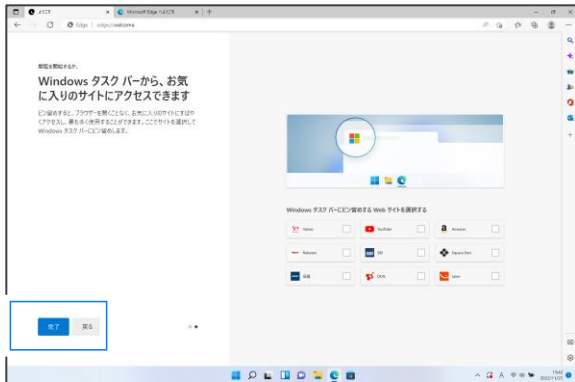
・「Googleからの閲覧データのインポートをお手伝いします」は、
⑤ “このデータを使用せずに続行する”
をクリックします。

・「Microsoft のエクスペリエンスをより便利にするためにご協力ください」は、
⑥ “確認して閲覧をの開始する”
をクリックします。



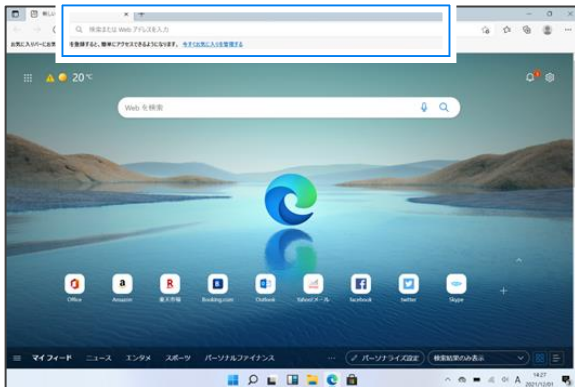
・「テーマを使用してMicrosoft Edgeをカスタマイズして自分を表現する」は、任意で右側にあるテーマを選択し、“次へ”をクリック

④



「Windows タスクバーから、お気に入りのサイトにアクセスできます」は、ご利用されるサイトにお好みにチェックを入れ、“完了”をクリックします。

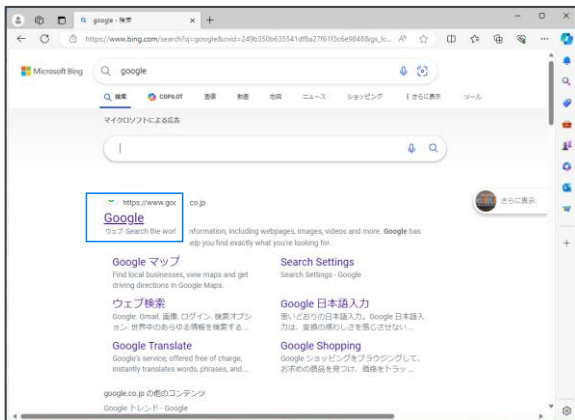
⑤



アドレスバーに閲覧したいWebページのアドレスか検索キーワードを入力します。

例えば、GoogleのWebページを表示させたい場合は、

⑥



“google”と入力すると、インターネット上でキーワードを検索した結果が表示されます。

←検索結果から、目的のWebページを選んでクリックします。

例では一番上に表示されています。

⑦

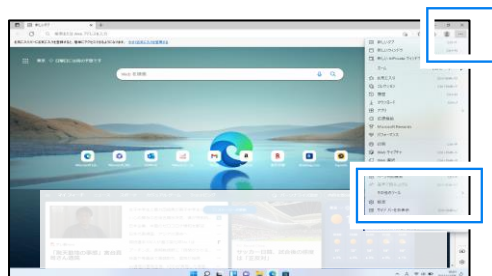


“www.google.co.jp”と入力すると、直接GoogleのWebページを表示させることができます。

別のWebページを入力する場合は、アドレスバーに表示されている文字を“delete”キーなどで消し、空白にしてから新たに入力します。

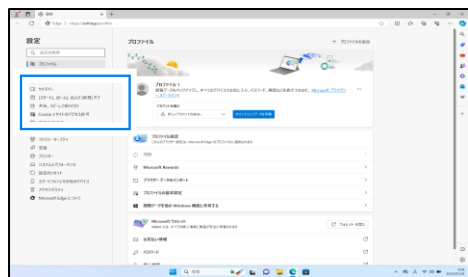
Edgeを起動したときに最初に表示される、Webページを変更することができます。

①



Edgeが起動している状態で、画面右上の“…”をクリックし、表示されたメニューの“設定”を選択してください。


②



左列の“スタート、ホーム、新しいタブページ”をクリックしてください。

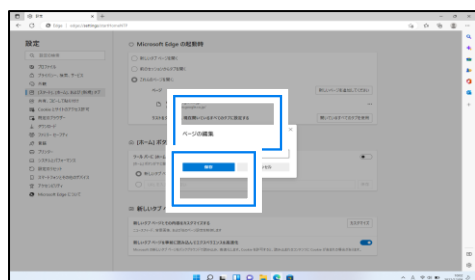
③



右側の「 Microsoft Edgeの起動時」の「これらのページを開く」のボタンをクリックしてください。

続けて右の“新しいページを追加してください”をクリックしてください。

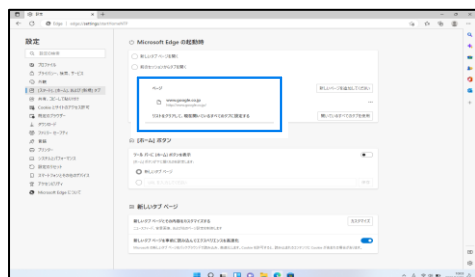
④



「新しいページを追加してください」の「URLを入力してください」欄に

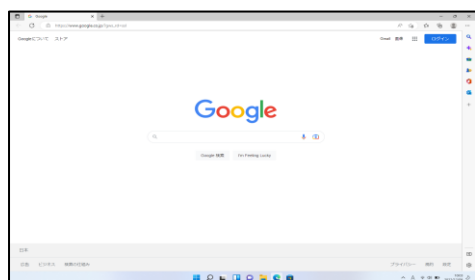
GoogleのURL www.google.co.jp を入力し、“追加”ボタンをクリックします。

⑤



入力したGoogleのURL情報等が表示されていることを確認します。

⑥

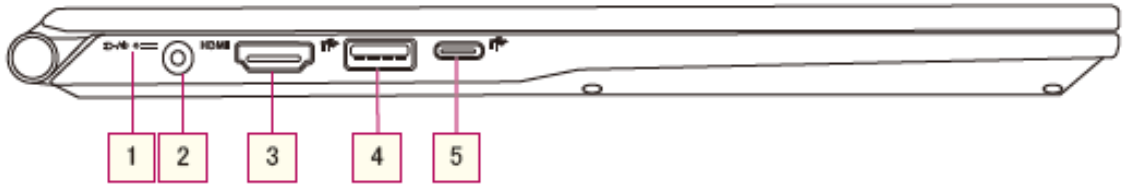


次回、Edgeを起動するとGoogleが表示されます。複数ページの起動登録もできるので、よく使うページを登録してみましょう。

8. 活用編

パソコンの各種ポート、インターフェースについて
パソコンにはいくつか種類の異なる、差込口(ポート)があります。

本体左面



1 電源ランプ

電源オン	グリーン点灯
スリープ	グリーン点滅
電源オフ(コンセント接続時)	オレンジ点灯

2 電源端子

本製品付属の AC アダプタを接続します。



過剰な力が加わると破損する場合があります。ご注意ください。

3 HDMI 端子

ワンポイント

後述の Thunderbolt4 合わせて、製品本体のディスプレイを含めた最大 3 台までのディスプレイを使用することができます。

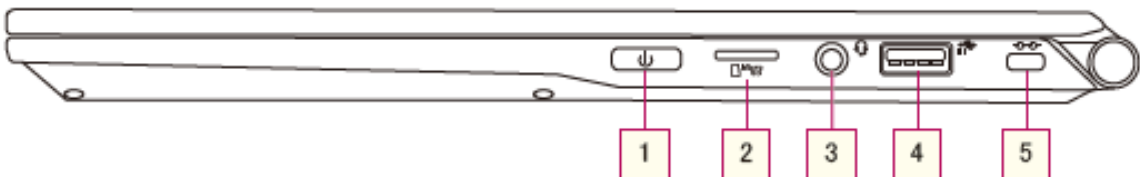
4 USB3.1 端子 (Type-A / 10Gbps/ 常時給電対応)

常時給電のオン・オフの切り替えは電源「オフ」の状態ですべての【Fn】+【電源ボタン】を同時に押します。出荷時の設定はオフとなります。

5 Thunderbolt4 端子

Thunderbolt4 対応機器を接続したり、映像を出力することができます。

本体右面



1 電源ボタン

2 カードリーダー

micro SD カード (SD/SDHC/SDXC) に対応しています。



市販されているすべてのカード、容量に対して動作を保障するものではありません。

3 ヘッドセット端子 (CTIA 準拠)

4 種タイプのヘッドセットを接続することができます。

4 USB3.0 端子 (Type-A / 5Gbps)

5 セキュリティスロット

セキュリティロックを施すことで、本製品を盗難などの被害から守ることが可能です。



すべての被害を防ぐことを保証するものではありません。

活用編続き USB機器について

USBポートは対応した機器を接続すれば自動的に認識され、すぐに使用することができます、ここではUSBの記憶装置を紹介しています。

USB記憶装置の例



USBメモリー



USB HDD/SSD

USBメモリーやUSB HDD/SSDは「外部ストレージ」とも言い、データのバックアップや受け渡しに手軽で便利です。

ただし、小さなものなので、なくしたり壊したりしないように注意しましょう。

特に個人情報が含まれるデータを保存する際は紛失に注意です。

(パスワードで保護できる機器もあります)

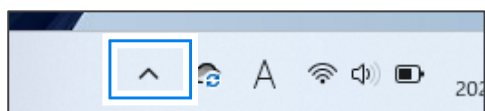
△重要

外部ストレージを取り外す場合は、必ず取り外しの操作を行ってください、場合によっては保存したデータが破損する恐れがあります。

USB記憶装置を取り外す場合

画面は一例です

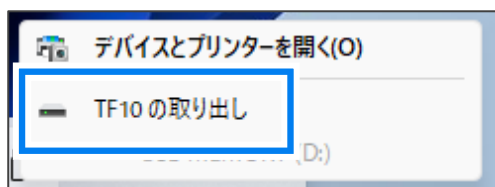
①



タスクバーの右側にある“∧”ボタンをクリックします。

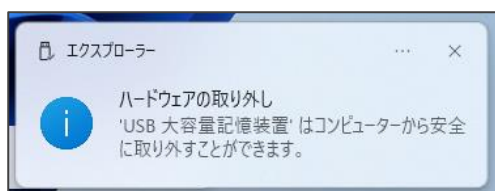
すぐ上にアイコンが表示されますので、「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックします。

②



表示されるメニューから、取り外ししたいUSB記憶装置を選びクリックします。ここでは「TF10」という製品名のUSBメモリーが表示されています。

③



「ハードウェアの取り外し」が表示されたことを確認して、USB機器を取り外します。

USBマウス、キーボードなど記憶装置ではない機器はそのまま抜いても問題はありません。

活用編続き バックアップについて

パソコンや外部記憶媒体は突然の故障や紛失・盗難などで、データが失われる危険性があります。

重要なデータや思い出の写真などは、複数個所に保存することをお勧めします。

バックアップ先について

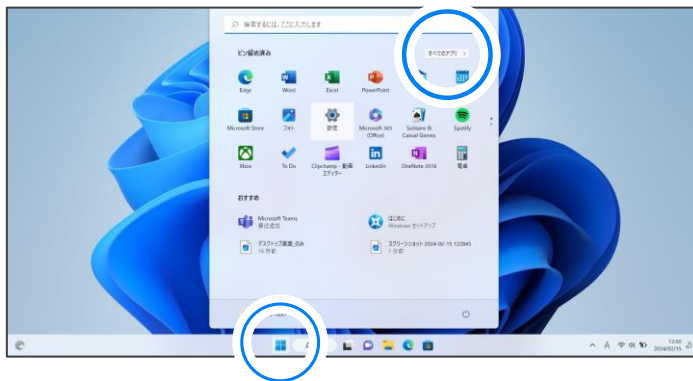
データ保存先の例として、下記のような媒体があります。

- ①USB接続の記憶媒体(USBメモリー、HDD/SSD、光学ドライブ)
- ②SDカードの記憶媒体
- ③インターネット上のストレージサービス

バックアップ方法について

画面は一例です

必要なデータを手動でコピーする、OSの機能を利用するなどの方法があります。ここでは、Windowsの自動バックアップ機能を紹介します。



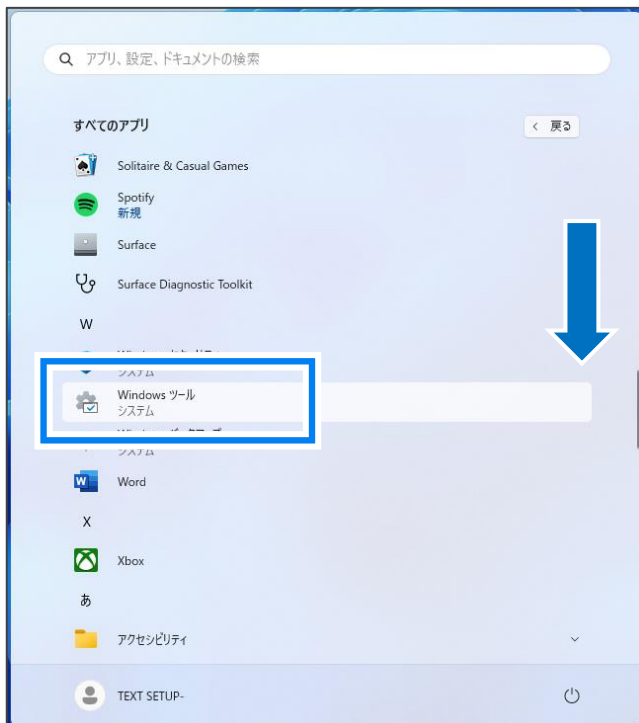
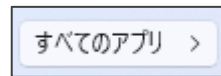
①

“スタートボタン”をクリックします。



←“スタートボタン”

“すべてのアプリ”をクリックします。



②

アプリケーションのリストが表示されたら、下にスクロールさせて、“Windowsツール”を探し、クリックします。

③

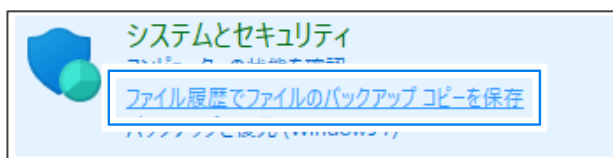


Windowsツールのウィンドウが開きます、“コントロールパネル”を探して、ダブルクリックで開きます。

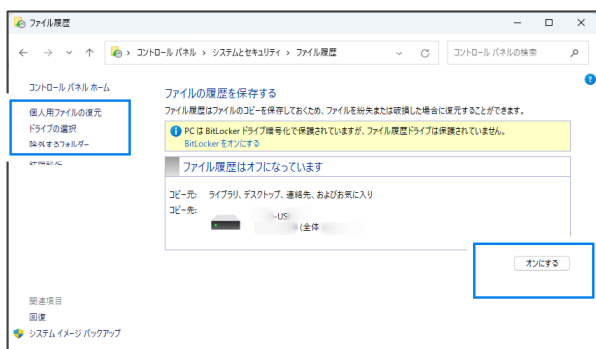
④



システムとセキュリティの“ファイル履歴でファイルのバックアップコピーを保存”をクリックします。

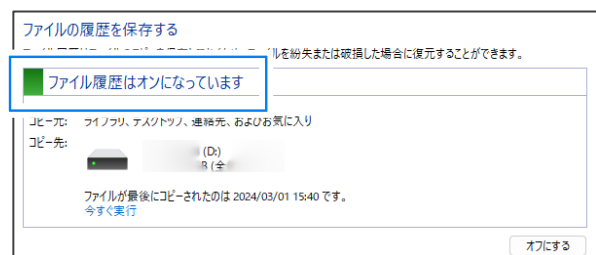


⑤



「ファイルの履歴を保存する」が表示されます。バックアップ先が表示されますので、相違が無ければ、“オン”をクリックします。バックアップ先を変更する場合は、“ドライブの選択”をクリックします。

⑥



「ファイル履歴はオンになっています」となっていることを確認します。

アドレス帳・お気に入り・デスクトップ・ライブラリなどを指定ディスクに定期的に保存します。詳細設定で保存頻度を変更することが可能です。(標準では1時間ごとに保存されます)

重要なデータは自動保存以外にも別の場所に保存されることをお勧めいたします。

◆ アップデート

ソフトウェアの小規模な更新、改善、修正、機能追加などのことを呼びます。
大規模な更新の場合はアップグレードと呼びます。

◆ アプリケーションソフト、アプリ

文書の作成、数値計算など、ある特定の目的のために設計されたソフトウェアのことを呼びます。

◆ インストール

パソコンでアプリケーションソフト（Wordやメールソフト等）が使用できるように設定する為の作業です。

◆ シリアル番号

ハードウェアのメーカー側で所有者の管理や偽装を防止するなどの目的で製品ごとに割り当てた番号。修理に出したり、ユーザー登録時に必要になります。

◆ スタートメニュー



パソコンのスタートアイコンクリック後に表示される基本となる操作画面です。

◆ ソフトウェア

OSとアプリケーションソフト等のプログラムの総称をソフトウェアと呼びます。

例：OS（Windows、macOS 等）

アプリケーションソフト（Word、Edge、ウイルスバスター等）

◆ ダウンロード

インターネット上からファイル（文章、音楽、画像等）をパソコン上に保存する作業です。

◆ バックアップ

パソコンの中のデータをUSBメモリや外付けHDD等にコピーを行う作業です。
パソコンの故障や操作ミスによってデータが消えてしまった時の為に行います。
バックアップ例：文書、写真、音楽、メール、インターネットのお気に入り等

◆ ハードウェア

パソコンを構成している部品や周辺機器等の総称をハードウェアと呼びます。
例：HDD、メモリ、キーボード、マウス、ディスプレイ、プリンタ、iPad等

◆ プロダクトキー

ソフトウェアのメーカー側でユーザ管理やソフトウェアの不正コピー防止のために発行している番号。ソフトウェアのインストール時やユーザー登録時に使用する。

◆ メモリー

データの保存場所であるHDDから、データを処理するCPUに渡すデータを一時的に置いておくための内部部品です。
メモリーの容量が大きいと一度にたくさんのアプリケーションソフト（Word、ブラウザ等）を使用できたり、動作がスムーズになります。

◆ ライセンス

ソフトウェアを購入した際にソフトウェアを使用する権利のこと。

◆ リカバリ(初期化)

パソコンを購入時の状態に戻す作業です。
パソコンが起動しなくなった際などに行います。

◆ ログイン/ログオフ

ログインはパソコンを利用したり、ホームページ内のサービスを利用する際にIDとパスワードを入力して認証をする作業です。
ログオフはパソコンやサービスの利用を終了する際に行う作業です。

◆ CPU(シーピーユー)

パソコン全体の処理・計算を行う、頭脳と言える部品です。
CPUが良いものであるほど、コンピュータは複雑で多くの処理を速く安定して行えます。

◆ HDD(ハードディスク)

パソコンの中でデータの読み書きを行う装置になります。
容量が多ければ多いほどたくさんのデータを書き込むことができます。

◆ LAN

ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピュータや通信機器、プリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワークです。

◆ OS(オペレーティングシステム)

WindowsやMac等の主にパソコンのソフトウェアやハードウェアを管理する機能になります。

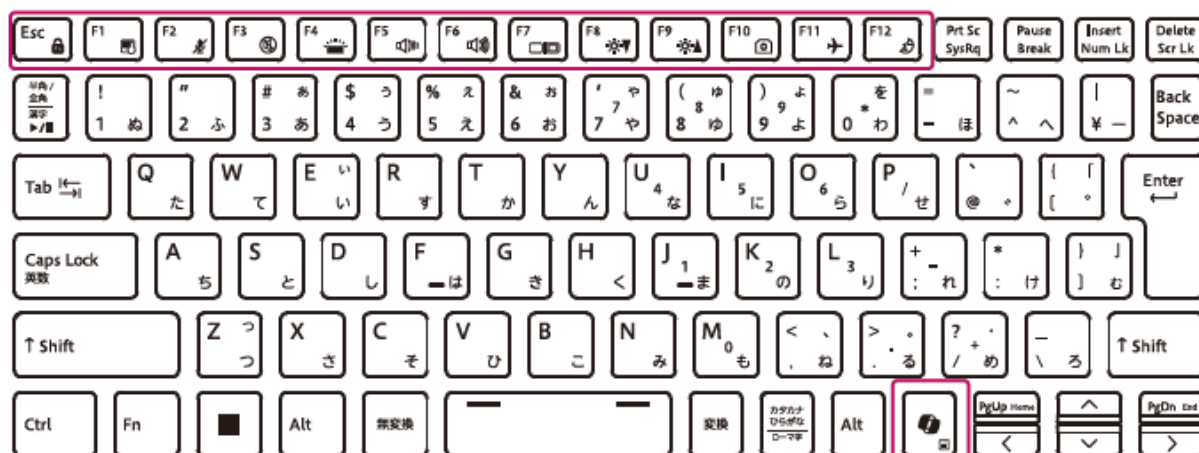
◆ SSD(エスエスディ)

HDD同様データの読み書きを行う装置になります。
SSDはHDDの機構部分をなくし、電子部品で構成された装置でHDDに比べ高速で消費電力が少ない特徴があります。

◆ Wi-Fi(ワイファイ)

無線LANの規格のひとつ。
最近ではWi-Fi=無線LANといった意味で使われることが多いようです。

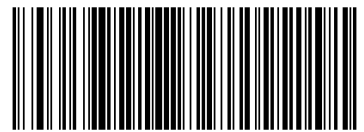
活用編 キーボードの各種キーについて



■ファンクションキー

キー操作	システムコントロール
Fn+Esc	Fn キーロック機能の有効・無効を切り替えます。
Fn + F1	タッチパッドの有効・無効を切り替えます。
Fn + F2	マイクミュート機能の有効・無効を切り替えます。
Fn + F3	音声ミュート機能の有効・無効を切り替えます。
Fn + F4	LED キーボードを、消灯もしくは1～5のレベルで明るさを切り替えます。
Fn + F5	ボリュームを小さくします。
Fn + F6	ボリュームを大きくします。
Fn + F7	ディスプレイ出力を① PC 画面のみ②複製③拡張④セカンドスクリーンのみ のいずれかに切り替えます。
Fn + F8	液晶ディスプレイ表示を暗くします。
Fn + F9	液晶ディスプレイ表示を明るくします。
Fn + F10	カメラの有効・無効を切り替えます。
Fn + F11	機内モードの有効・無効を切り替えます。
Fn + F12	スリープ状態になります。
Copilot キー	Copilot for Windows もしくは Windows Search が起動します。

管理用バーコード



ucf2024PCSET009